九州大学学術情報リポジトリ
Kyushu University Institutional Repository

平安時代の古文書（一）：特にその分布について

竹内，理三

https://doi.org/10.15017/2335151

出版情報：史淵. 54, pp.1-39, 1952-12-25. 九州大学文学部
バージョン：
権利関係：

平安時代の古文書（一）

――特にその分布について――

竹内理三

一

奈良時代の文書は、正倉院に傳えられたいわゆる正倉院文書をその主要部分として、東京大學史料編纂所から出版された大日本古文書二十五冊によつて學界に紹介されたものは、筆者の算えたところによれば、一萬二千通に及んでゐる。寧樂遺文。卷上解說。その後、この大日本古文書所收以外の奈良時代文書が間々發見されることがあるが、その數は極く僅かである。從つてこの數を以て、ほゞこの時代の現存文書數と考へることができよう。

奈良時代七十五年間に對して、天應元年（AD七八一）に始まり、壽永四年（AD一一八五）に至る約四百年の永い期間を占める、平安時代の古文書は、然らばどの位現存するであらうか。

二

この時期の文書で、その本文を傳えてゐるものは、その數決して少くない。六國史以後、國史の編修が行はれず、そのため政治的史料を生のまゝ保存することが、時の爲政者にとつて必要となつたことや、政治そのものが形式化して、典禮故實として文書が保存されたこと――朝野群載や本朝文粹の如き文例集的編纂物がつくられたこと――などが、その重なる原因である。從つて、平安時代の文書が多くのこつてゐるといふても、かうした意味の編纂物として傳へられてゐるも

のを含んでのことである。

先づ編纂集成された文書集として第一にあぐべきものは、「類聚三代格」であらう。この書が、弘仁格・貞觀格・延喜格を項目別に類聚したものであるので、そのもととなつた此等の格があれば、それを擧げるべきであるが、今日では、弘仁格の目錄の一部が傳はつてゐるにすぎない。類聚三代格は、大寶元年（AD七〇〇）から延喜七年（AD九〇二）に至る二世紀の間の詔、勅、太政官符の本文をそのまゝ集めたもので、

大寶一通　慶雲五通　和銅四通　靈龜一通　養老一二通　神龜八通　天平一七通　天平勝寶一一通　天平寶字二三通　天平神護一〇通　神護景雲四通　寶龜二四通　天應三通　延曆一三九通　大同八五通　弘仁一三六通　天長六七通　承和九七通　嘉祥二〇通　仁壽一六通　齊衡二二通　天安八通　貞觀一五二通　天慶五五通　仁和一八通　寛平八八通　昌泰二一通　延喜二六通

合計九五〇通を收めてゐる。ただこの文書集は、その目的が政治の實際面に資する目的を以てつくられたものであるため、その内容が主となり、文書の体裁については、主者、奉行者の署名などは、殆んど省略されて、文書の全貌を傳えてゐないことと、本朝書籍目錄には三十卷とあるのに、今日では卷九・卷十一・卷十三及び卷二十一以下を欠いてゐることは、遺憾である。

類聚三代格は、後二條師通記寛治二年四月五日の條の裏書にその名がみえるので（AD一〇八八）、少くともそれ以前につくられたものであることが知られるが政事要略にはまだ引用されてゐない。これについてあぐべきものは、保安二年（AD一一二一）に成つた「類聚符宣抄」であらう。これは、類聚三代格には收められてゐない宣旨・官符及び解狀などを、事項別に類聚編集したもので、左大史壬生家に傳へられたので、一名「左承抄」ともいわれる。元來十卷であつたものが、鎌倉時代には、既にその中の卷二・卷五の二卷を逸して、現在では八卷を存してゐる書陵部編「圖書寮典籍解題續歷史篇」法制部。その体裁は類聚三代格に

似てゐるが、その目的は、彼が政治の運行の實際面の參考とするものであるに對し、此は、左大史として、公文書作成の文例としてつくつたものであるので、文書を節略することなく、全文を擧げ、且つまた、內印とか外印とか省印とかの印まで記入し、更には、例へば、「件官符捺外印賜式部、々々作補任捺省印進官、々々作任符捺內印賜了」とか（卷一諸神宮司補任事萬壽二年三月五日、太政官符）「給外印符於式部、々々申補任、次給內印任符」（同上庚保二年二月十九日太政官符）、「同前、或不經式部、直給官符於伊勢國幷大神宮」とか註して（同上長德元年八月廿五日太政官符）、文書發行の手續まで記してあつて、古文書學上からも、有力な資料である。所收の年代は天平九年六月廿六日の太政官符から始まつて、寬治七年正月十九日の宣旨に至る、次の如くである。

天平二通　延曆四通　大同三通　弘仁三三通　天長二五通　承和一五通　齊衡一通　天安一通　貞觀一六通　元慶一六通　仁和二三通　寬平七通　昌泰三通　延喜七三通　延長二五通　承平三二通　天慶四三通　天曆八二通　天德九通　應和二八通　康保五五通　安和二〇通　天祿五通　天延二通　貞元六通　天元八通　永觀五通　寬和四通　永延一五通　永祚一通　正曆一〇通　長德一〇通　長保二三通　寬弘一〇通　長和一三通　寬仁一〇通　治安六通　萬壽二九通　長元二〇通　長曆六通　治曆七通　延久四通　寬治五通

で、合計七二七通。類聚三代格が、その大部分を太政官符を以て埋めてゐるに對し、符宣抄は、宣旨四六八、官符一二五、其の他で、宣旨が壓倒的に多いのも、特徵的である。特に類聚三代格以後、他に官府の文書を傳へたものが絕無となつた延長以後の文書を數百通傳へてゐるのは、この文書集の編纂者にとつて大きな功績である。いわゆる延長の風土記と稱せられてゐるものが撰進せられたことが知られるのも、本書に收められた延長三年十二月十四日の太政官符が唯一の史料であるし、六國史の後にも、撰國史の事業が繼續せられてゐたことも、これに收められた撰國史所干係の宣旨によつて知られるのである。この類聚符宣抄に對して、假りに「別聚符宣抄」と名づけられた一卷がある。これは舊廣橋伯爵家に傳へられ、今は東洋文庫の架藏に歸したもので、もと何卷のものであつたか、知る由もないが、現存の卷には、延喜二年

四月十三日の官符から、天祿二年七月十九日の官符に至る。

延喜五五通　延長一四通　承平二〇通　天慶一一通　天暦一四通　康保一通　天祿一五通

の合計一三〇通の宣旨及び官符を傳えてゐる。然しこの書では、宣旨も官符も間々節略してゐるし、類聚符宣抄や政事要略に引用されてゐるものと重復してゐるものもある。

以上の文書集は、何れも平安時代につくられたものであるが、それ以後につくられた魚魯愚抄や（魚魯愚抄は洞院公賢の著）除目大成抄などには、おびただしい除目申文を收載してゐて、これ亦、平安時代の文書を傳えるものとして見逃すことのできないものであるが、これらは文書集そのものといふより、政事要略や法曹類林などと同じやうに、文書の外の各種の記錄類と共に、編者の說明についての典據として收められてゐるものであるので、しばらく論外におくとしても、なほ見逃し得ぬものは、「永久之暦丙申之年」（AD一一一六）編者三善爲康の自序のある「朝野群載」である。これは文書ばかりでなく、詩文をも含むが、文筆・朝儀・神祇官・大政官外記史・攝錄家・公卿家、等の項目に分けて、詩文及び公私文書を類聚したもので、この書よりやゝ先立つところの藤原明衡によつて集錄された「本朝文粹」が、詩文章を主として類集したのに對して、文書を主体としてゐるところに、文書集としても取扱はれる價値をもつてゐる。然しこの書もその序文には三十卷とあるのに、その中の十・十四・十八・十九・二十三・二十四・二十五・二十九・三十の九卷を缺いてゐる。所收の文書は、延暦三年九月八日の大納言藤原繼繩の奉納興福寺寶物牒に始まり（卷七攝籙家）長承元年十二月廿日中納言顯雅消息に至る。

延暦一通　大同一通　弘仁一通　天長一通　承和一通　嘉祥一通　仁壽一通　貞觀五通　元慶一通　仁和一通　寬平二通　昌泰二通　延喜七通　延長三通　承平三通　天慶五通　天暦一七通　天德五通　應和七通　康保二通　安和一通　天祿三通　天延六通　貞元一通　天元三通　永觀四通　寬和四通　永延三通　永祚二通　正暦二通　長德六通

長保一三通　寛弘一三通　長和一〇通　寛仁三通　治安五通　萬壽六通　長元七通　長暦五通　長久八通　寛德一通
永承八通　天喜六通　康平一五通　治暦七通　延久一九通　承保一四通　承暦一四通　永保一二通　應德三一通　寛
治二七通　嘉保二七通　承德一〇通　康和七一通　長治二五通　嘉承二七通　天仁一一通　天永二九通　永久四四通
元永一一通　保安一一通　天治二通　大治一一通　天承七通　長承一通

合計六〇四通を收めてゐる。本書が永久丙申、即ち永久四年の自序をもちながら、永久以後のものも少からず收めてゐるのは、著者爲康が、保延長承の次五年（AD一一三九）九十一歳で歿するまで、漸次增補追加したものであらう　和田英松博士「本朝書籍目錄考證」

以上のほかに、醍醐寺要書や醍醐寺雜事記、東大寺要錄、東寶記、或は石清水八幡宮寺緣事抄など、寺院や神社のそれぞれの文書を集めたものも少くない。奈良時代の文書が、原本を多く今日に傳えてゐるのに對して、編纂されたものとして傳へられてゐることは、平安時代の文書の著しい特色である。而も例へば醍醐寺雜事記卷十四・卷十五の文治二年當時の醍醐寺寶藏文書櫃目錄によれば、年號を記してゐる文書通數は、五百通以上を數えるが、今日殘つてゐるものは、僅かに案文として數通を存するにすぎず、同書の卷十二・卷十三の二卷に免除證文として收載してゐる八十六通の文書によつて、その一部分を傳えてゐるにすぎない。若しこれに醍醐寺要書の三十四通を加えるとしても、なほ五分一を少しすぎる程度にすぎない。以てこの時代の研究に、これらの文書集の占める重要さをうかがうことができよう。

三

醍醐寺の文書目錄に示された平安末に存した五百通以上の文書が、今日ではわずかにその五分の一しかうかがうことができぬとしたならば、今日原本或は案文として殘されてゐるこの時代の文書の蒐集と整理保存は、平安時代の研究者にと

つて急務でなければならない。

今日のこる平安時代の文書の原本又はそれに準ずる案文は、如何程あるであらうか。今日までのところ、極く個人的な消息類や、類型的な除目申文の類を除いて、管見に及んだ文書の數は、四千二百通である。若しこれに、除いた消息、申文、用ひ難い斷簡類を加え、更に前項の文書集所收の文書を加えても、恐らくは一萬通を超えることはないであらう。奈良時代の一世紀足らずの間の一萬數千通に比べて、ほぼ四世紀にわたるこの時代が、それよりもなほ少い文書しか傳えてゐないことは、文書によるこの時代の研究を困難ならしめる所以である。この四千二百數十通の中、年號の明らかなもの及び年號の推定し得るものを年代順に整理すると、次のやうな分布を示してゐる。

延暦二七通　大同五通　弘仁一七通　天長八通　承和三一通　嘉祥一三通　仁壽一七通　齊衡五通　天安五通　貞觀四六通　元慶二通　仁和三通　寛平七通　昌泰一通　延喜三五通　延長一八通　承平九通　天慶一〇通　天暦一六通　天德五通　應和三通　康保二三通　安和二通　天祿五通　天延三通　貞元三通　天元八通　寛和八通　永延一二通　永祚五通　正暦一四通　長德一八通　長保七三通　寛弘三四通　長和八通　寛仁六通　治安一七通　萬壽一三通　長元六四通　長暦六六通　長久四一通　寛德一一通　永承六六通　天喜二〇二通　康平九三通　治暦四〇通　延久六四通　承保四二通　承暦三四通　永保二四通　應德四八通　寛治八六通　嘉保三七通　永長一九通　承德二三通　康和一二四通　長治一一八通　嘉承三七通　天仁三三通　天永七三通　永久九四通　元永二三通　保安一〇〇通　天治四五通　大治一一四通　天承五四通　長承八八通　保延一二〇通　永治二五通　康治五〇通　天養三四通　久安五三通　仁平八五通　久壽三三通　保元三三通　平治六九通　永暦一二一通　應保七九通　長寛九五通　永萬五一通　仁安一〇〇通　嘉應七一通　承安一二三通　安元八六通　治承一六一通　養和四四通　壽永一二四通　元暦九二通

當然のことながら、時代を降るにつれてその通數は著しく增加してゐる。

次にこの文書の所在の地理的分布から見れば、

岩手縣（括弧内の數字は「平安遺文目錄古文書編」における登錄番號である）

一　中尊寺經藏文書　四通（二〇四〇、二〇四一、二三八六、二七五二）

宮城縣

二　上遠野文書（栗原郡大河口上遠野氏）二一通（二三六〇、二六五七）

五　狩野亨吉氏蒐集文書（東北大學現藏）二〇通（五九、五九二、九〇一、九〇三、九〇三、一六三三、二二八八、二三三三、二三五五、二四二四、二四九八、二六〇七、三二四、三三五、三六二一、三六三六、三七九〇、三八五一、三九四四、三九八五）

山形縣

四　市河文書（米澤市伊佐早謙氏）四通（三四六一、三八三二、四〇〇〇、四〇三二）

茨城縣

五　榮山寺文書（新治郡色川三中本）一一通（三三六、四六〇、四六四、一三七三、一三七四、一三七五、一四一六、一六二八、一六八二、二八八〇、二八八四）

六　榮山寺文書（水戸彰考館本）七通（三三〇、三三三、三三四、四八六、五六一、六九三、一四〇九）

七　鹿島大禰宜文書　三通（三五六、三六二一、四〇八三）

八　鹿島護國院文書　一通（三七一〇）

九　鹿島社文書（楓軒文書纂所牧）四通（三八五三、四〇六六、四〇八二、四二六〇）

一〇　菅孝次郎氏所藏文書（東茨城郡）三通（三三〇、三三二、二一〇二）主として東大寺文書である。

一一　京八幡社文書（色川三中本）一通（二八四四）

一二　諸家文書纂（彰考館本）一通（一三三四）

一三　田所主税文書（楓軒文書纂所收）二通（三七八五、三七八二）但しこれは安藝國在廳田所氏の文書である。

一四　大宮司文書　一通（二六六一）

一五　吉田社文書（楓軒文書纂所收）二通（二六二〇、二六七八）

栃　木　縣

一六　園田文書（山田郡園田愛太郎氏）一通（三八六五）

千　葉　縣

一七　大禰宜文書　二通（三三四七、三三四八）

一八　香取文書（香取文書纂）五通（二六四〇、二八〇六、三二三、三二九三、三八六七）

一九　香取文書（楓軒文書纂所收）五通（二四五〇、三五一七、三六二、三三四、三八六三）

二〇　香宗我部傳證文（香宗我部順氏）一通（四〇六二）

埼　玉　縣

二一　根岸武香氏所藏文書（大里郡胃山村）三〇通（四八、九四、一〇二、一二七、一九、一三〇、一三二、二〇七、二六一、二六二、二七二、三三四、七三三、七六六、一〇〇五、一〇〇八、一〇二二、一〇二三、一三三九、一三六四、一三六五、一三六六、一三六七、一三六八、一三八四、一三八五、一四〇四、一四四二、二三三四、二四〇五）東大寺文書東寺文書觀世音寺文書などを蒐集したものである。

東　京　都

二三　赤星鐵馬氏所藏文書　二通（五〇、四四三）

二三　井上恒一郎氏所藏文書　一通（三三五）有名な尾張國解文の弘安寫本である。從來缺けてゐた年號日付を有する點、また同解文最古の寫本である點で貴重である。

二四　市島謙吉氏所藏文書　三通（一七五、一九七、二四二）東寺文書である。

二五　大鳥大明神文書（長谷川福平氏藏）二通（三三〇、三三一）大鳥神社は和泉國大鳥郡の式内社である。

二六　大森洪太氏所藏文書　一通（四〇三四）

二七　正親町伯爵舊藏文書（東京大學史料編纂所寄托）一四通（五四、五五、五六、五八、六一、一六五、一六九、一七六、一八〇、一八一、一八五、一八八、一九二、一九八）すべて近世の寫にかかる東大寺文書で、近江國の墾田賣券にかゝる。

二八　岡本文書　一通（四〇八七）

二九　柏木貨一郎氏所藏文書　二通（九三、四〇六）東大寺文書である。

三〇　神田孝平氏所藏文書　三通（四五八、四六九、四〇三四）

三一　嚴松堂待賈文書　二通（四二七、三三三）東大寺文書と三鈷寺文書である。

三二　北白川家所藏文書　一一通（九六、一〇三、一〇四、一〇五、一〇六、一〇七、一〇八、一〇九、一一〇、一一一、一五四）何れも園城寺文書智證大師圓珍の關係のものである。

三三　久我家文書（國學院大學保管）六通（一九六〇、一九七五、二九八八、四〇二七、四〇二八、四〇三三）

三四　黑田太久馬氏所藏文書　二通（七六六、七四四）東大寺文書黑田庄關係のものである。

三五　古梓堂（久原文庫）文書　一七通（四、二三五、二九五、二九六、四七三、九五六、九六五、九六六、九七九、二一〇一、二一〇二、二一五〇、二二五一、二三四五、二四七五、二六四六、三〇五六）東大寺文書及び東寺文書を含む。

三六　弘文莊待賈文書　一通（四〇〇八）賀茂神社文書である。

三七　近藤圭造氏所藏文書　一通（八三一）東大寺文書である。

三八　佐々木信綱氏所藏文書　六通（二九九、四〇三、四三一、四三五、七二八、七七七）東大寺文書である。

三九　三條家文書

イ　三條家文書　九通（七三二、一〇九二、一〇九六、一〇九七、四一〇一、四一〇二、四一〇三、四一〇四、四一〇五）多くは壬生家古文書の寫。

ロ　公任筆北山抄裏文書　一四通（三七〇、三七二、三七三、三七四、三七六、三七八、三八一、三八二、三八三、三八四、三八七、三八八、三八九、四一三）檢非達使廳關係のものが多い。

ハ　愚昧記裏文書　一四通（五二三、二〇〇六、二〇〇九、二一〇九、二一七〇、二二九一、二四九、二四二一、二四六六、二五二八、二五九九、二六四〇、二六六六、二六六九）

四〇　宮內廳書陵部所藏文書　八六通（一七七、一七六、一七五、二二〇三、二二一七、二二六八、二四〇三、二四一四、二四一六、二五二五、二六九九、二六二一、二六二三、二七五〇、二七七三、二七七七、二七八八、二七九二、二七九七、二八三三、二八四八、二八七五、二八七八、二一〇〇、二二三九、二二八二、二二八六、二二九〇、二四七八、二五六六、二六九九、二七七七、二七八八、二七四二、二七四三、二七四四、二七四五、二七四六、二七四七、二七四八、二七四九、二七五〇、二七五一、二七五六、二七七一、二七七八、二七九一、二八一三、二八四一、二八四四、二八四五、二八四六、二八四七、二八四八、二八五一、二八五六、二八五八、二九二、二九四五、二九七一、二九七三、四〇四〇、四〇四一、四〇四三、四一〇〇、四一二〇、四一三一、四一三三、四一五九、四一八〇、四一八一、四一八五）この中には東大寺文書・東寺文書・谷森氏舊藏文書・柳原家文書等を含むが、最も多くは舊壬生家所藏文書を含み、そのほか主殿寮文書・攝津國採銅所文書・神祇官文書（白川家舊藏）等がある。

四一　小泉策太郎氏所藏文書　三通（二二八五、二八九四、二八九五）何れも東大寺文書である。

四二　竹內文平氏所藏文書　五通（二〇〇六、二〇〇五、二六二三、二六二四、二六二五）何れも東大寺文書である。

四三　下鄕傳平氏所藏文書　二通（二三〇八、二三二三）

四四　集古文書（內閣文庫）四通（二二八九、二六八六、二六七〇、二九四七）

四五　成簣堂所藏文書　四二通（四〇〇二、四一五五、六〇〇二、七九八、九九六、一〇〇二九、一〇〇三七、一一〇九、一一九一、一四二四、一四九九、一二七一、一七〇一、一七二三、一八〇五、一八九三、一九八一、二〇一〇、二〇一一、二〇一八、二〇一九、二〇二六、二〇二九、二二七一、二二二一、二四二五、二六〇四、二六一四、二六二八、二六六八、二六八八、二八四五、二五二五、三一二四、三二六〇、

三三四、三三六、三九四、三六九、三六三、三九四、四〇九）この中二一八通は東大寺文書であり、他は大乘院文書等を含む。

四六　尊經閣所藏文書　三七通（四四、一三六、一二七、一五〇、一七二、一七七、二〇〇八、二一〇七、二一〇四、二二九、二三三、二四六、二四七、二八六、二八八、二八八二、二九〇一、二九二、三三七、三三七、三三四、三六六、三六七、三六八、三六九、三七三、三七〇、三七八、四一六、四一七、四四三、四五一、四五二、四一三、四一五、四一六）この中に東大寺文書多數を含む。

四七　高松宮家所藏文書　二通（二九二〇、三〇〇七）

四八　徵古文府　三通（六九、六八、二〇四五）

四九　帝室博物館陳列文書　三通（二〇七二、三三四、三三八五）

五〇　東京文科大學所藏文書　四通（三六八、三六七、三六八、八〇九）東大寺觀世音寺文書を含む。

五一　東京大學所藏文書（史料編纂所保管）

イ　東大寺文書　三一通（四八、五九三、五九四、五九七、六七一、七六八、七七一、七七三、八〇四、八〇八、八一七、八七七、八九八、一五二四、一七〇七、二三三三、二六二三、二七〇〇七、二八九九、二四三五、二四四〇、二四四一、二四五六、二六一五、二六三三、二六八四、二七一五、二七三五、二八五八、二九四〇、四〇五一）

ロ　觀世音寺文書　一二通（一四〇七、一四六七、一六九〇、一六七三、一六八三、一六九〇、一六九一、一七〇四、一七一六、一七三四、一七五九、一七四一）

ハ　東寺文書　一通（一七七七）

五二　東京大學史料編纂所々藏文書

イ　東大寺文書　一〇通（九〇、一一五、一二六、一四一、一四五、一三三、一三三、一六一、三三八七、三三八八）近江國愛智庄立券文と題する墾田賣買券八通を含む。

ロ　春日社舊記文書　五通（一六七六、一七〇二、一七五五、三三八三、三三八七）

ハ　廣田社舊記文書　四通（一二三八、一八五一、三三〇七、三五〇三）攝津國廣田社の文書である。

五三　東京美術學校所藏文書　一通　(一九六)　觀世音寺資財帳である。

五四　白河本　東寺文書（國立上野圖書館本）五六通　(二〇三、二〇三、二四七、四八一、七一五、七三一、一一二四、一三五〇、一三九六、一四三六、一四三八、一四四三、一四五三、一四六五、一四七六、一四九二、一四九四、一五〇四、一五〇六、一六〇四、一六九二、一七六六、一七四〇、一七六五、一七七〇、一七七六、一七九六、一八一八、一八二三、一八四六、一九一〇、一九七八、二〇〇七、二〇〇六、二一三四、二三八一、二三九五、二三九九、二三〇九、二三四五、二五五二、二六六六、三一三〇、三三三〇、三三七、三三六六、三四六七、三四八八、三五六三、三六六六、三六六八、四〇六〇、四〇六一、四〇六二、四一〇六)　江戸時代に白河樂翁侯が東寺文書について書寫せしめたもので、後桑名文庫に歸し、現在國立上野圖書館の有となつたもので、現在の東寺百合文書に逸したもののみを擧げた。

五五　東寺古文零聚（酒井家）六通　(二四三、二八二、二一八三、二九九、一四三、三九八)　伴信友が東寺について筆寫せるもので、現在の東寺百合文書に逸せるもの。

五六　內閣文庫所藏文書（宮城內）

イ　東大寺文書　一二四通　(六九、七〇、二〇〇、二〇四、二〇五、二三七、二三一、二六六、二三七、二四〇、三二三、三三七、三九二、四〇八、四〇九、四一〇、四二一、四二五、四二六、四三五、四三八、四三九、四五〇、四五二、五四七、五八〇、五八四、五八五、五八六、五八九、六三五、七二二、七二三、七二四、七三三、七三六、七三六、七三六、七三六、一〇一〇、一〇一〇、一〇五二、一〇五五、一〇五六、一〇五九、一〇七二、一〇七四、一〇七五、一〇七七、一一〇六、一一〇七、一一一二、一一一六、一一一八、一一一九、一一二七、一一二九、一一三〇、一一三三、一一三四、一一三四、一一三四、一一三四、一一三八、一一三九、一一四〇、一一四〇、一一四一、一一四一、一一四一

ロ　光明寺古文書　四三通（二四六、二五六、二七七、二八〇一、二五九、五八七、二一九五、二四六六、二四九七、二七一四、二七七八、二八四九、二八八〇、二〇五〇、三二七、三二四、三三七、三三四一、三三八六、二六二六、二六五四、二六九〇、二六九二、二七〇〇、二七二七、二七五四、二七六二、二七六三、二八二〇、二八九三、三〇七六、三三六、三三四八、三三六五、三五六八、二六〇八、二六四四、二六〇一、二六六九、二六七一、二九五四、四二〇七、四二〇八）光明寺は宇治山田市にある光明寺で、内閣文庫所蔵の光明寺古文書は、「世に光明寺舊記」と題して流布せるものの原本と、舊記にありて既に原本を逸せる部分を屋代弘賢が補寫補入したる新寫文書とを合せて三〇巻の巻子としたものである。

ハ　大乗院文書　一通（二六八九）

二七　永森氏所藏古文書　一通（二三五二）

二八　南陽堂待賈文書　一通（二三七）

二九　根津美術館所藏文書　三三通（一三、九一、四二〇、四二一、四二三、四二五、四二四、五〇二、五二一、六二六、六二七、六六七、六六八、七二四、一五二三、一八五三、一八五五、一八二六、一九二六、一九四一、一九六九、一九七〇、一九七一、二〇〇九、二二七五、二二七三、二六八七、二八五一、三〇九四、三二八四、三三二八、三六四一、三九九〇）　大部分が東大寺文書である。

三〇　禰寢文書（小松從志氏）七通（一〇〇三、一九〇四、一九〇八、二五〇七、二五二三、二五七六、二五九八）薩摩禰寢氏の文書で、小松氏はその後裔である。

三一　蜂須賀家所藏文書　八通（一二六、一二九、一六〇、一六二、一六三、一六四、一九〇、二六二四）大部分が東大寺文書である。

三二　前田剛二氏所藏文書　一通（一五〇九）

三三　正木文書（新田俊純氏）三通（二八二一、三二九八、三二九九）

三四　益田孝氏所藏文書　一通（二二七）

三五　股野琢氏所藏文書　一九通（六五二、五九九、六〇一、六四二、六九七、八八八、一二六七、一三二七、一四七五、一六三二、二二六三、二四三二、二五二九、二六四四、二八四一、二九五五、

三三〇、三五四、三七〇）東大寺文書が大部分を占める。

六六　松田福一郎氏所藏文書　一六通（四四九、一四三六、一四四七、一四四八、一四四九、一五五一、一六五一、一六七二、一六九六、二六二三、二八一三、三九二一、三七三三、三九三三、三九三五、四〇七二）主として東大寺文書である。

六七　水速文書　一通（四〇一七）

六八　三宅長榮氏所藏文書　五通（一六八四、二〇一三、三三一〇、二八一四、三九八）東大寺文書である。

六九　民經記裏文書（東洋文庫本）一通（一七五三）

七〇　八代恒治氏所藏文書　一通（三九）東寺文書である。

七一　山崎種二氏所藏文書　二通（二四六八、三七七二）

七二　由良文書（安川繁成氏）一通（三六六四）

神奈川縣

七三　圓覺寺文書（鎌倉市）二通（二四九三、二四九七）

七四　多聞院文書（新編相模風土記所收）一通（三九八〇）

七五　鶴岡八幡宮文書（鎌倉市）三通（三九五九、三九六〇、四〇三五）

七六　稱名寺文書（横濱市）一通（三三六四）

七七　長谷場文書（横濱市長谷場純敬氏所藏）二通（三三七八、三三七八）薩摩の長谷場氏の文書で、薩藩舊記所收の原本である。

七八　渡邊福太郎氏所藏文書（横濱市）六通（三九一、三九三、三九四、三九七、三九八、四〇〇）何れも東大寺文書である。

新潟縣

七九　高橋義彦氏所藏文書（中蒲原郡大形村）一〇通（六五三、八二四、一七六九、一七七七、二三九〇、二六一五、二七〇二、二八四三、三三六六、三四五〇）何れも

東大寺文書であり、後、市島謙吉氏に移つた。

八〇 中野忠太郎氏所藏文書　一通　（三九六一）

八一 保坂潤治氏所藏文書　一八通　（四四八、四七六、五六三、七八九、一八四四、一八六三、二〇一三、二〇一七、二〇九八、二〇九六、二一〇七、二三九二、二四六七、二八七、二四三五、二三七四、二三八一、二三五二）この大部分は東大寺文書である。

長野縣

八二 吉田れん氏所藏文書（諏訪郡）一通　（二三五四）

靜岡縣

八三 蒲神社文書（濱名郡神立村）一通　（三八二四）

八四 中山文書（小笠郡中山將見氏）一通　（二〇八三）

八五 益永文書（清水市益永透氏）二一通　（三三三一、三三三三、四〇九五）　大分縣宇佐八幡宮社家益永氏の文書である。

八六 三島神社文書（田方郡三島町）一通　（三八六八）

八七 矢田部文書　二通　（一五二七、一六七〇）

愛知縣

八八 熱田神宮文書（名古屋市）六通　（八四、八五、九五、九七、九八、一八六）

八九 關戸守彥氏所藏文書（名古屋市）二一二通　（一六九、二七〇、三〇二、三〇八、三二八、三三五、三三六、三三八、三三一、三四六、三六〇、三六三、三六四、四三〇、二二七、二二四五、二三〇五、二五六、二三九四、二四八、二四九、二四八〇）　東大寺文書及び三鈷寺文書である。

九〇 大須寶生院所藏文書（名古屋市）一通　（三三六八）　東大寺文書である。

九一 水野正彥氏所藏文書（名古屋市）二一通　（三八三七、四〇〇九）

石川縣

九三　須須神社文書（珠州郡三崎村）一通（三六〇）

九三　菅原天神社文書（珠州郡）一通（一七二〇）

福井縣

九四　氣比神社古文書（敦賀市）一通（五三二）

滋賀縣

九五　石山寺文書　一三通（一〇〇一、二八九、二九〇、二二四五、三〇四、三〇八、三〇九七、三二六七、三二四七、三二六三、三三八、三九四三、三九五三）その大部分は聖教紙背文書である。

九六　打聞集裏文書（山口圓光氏本）七通（一二二、一六三二、一六三六、一六四六、一六六九、一六七七、一七四八）

九七　圓滿院文書　一通（二三）

九八　延暦寺文書　二通（一九、二三）

九九　園城寺文書　一〇通（一二二、一二三、一三二、一三三、一三五、一二六、一二七、一二八、一二九、二三三）何れも圓珍干係のものである。

一〇〇　願成寺文書　三通（二七九八、二八〇三、二六三〇）

一〇一　金勝寺文書（栗太郡）一通（四〇九七）

一〇二　菅浦共有文書　一通（六〇五）現在彦根大學保管。

一〇三　生源寺文書　一通（三三三二）

一〇四　長命寺文書　一通（一〇九四）

一〇五　南部文書（淺井郡南部晋氏）三通（一九八〇、三三五五、三三六二）

一〇六　明王院文書　一通　（二六九七）

一〇七　坂本蓮華院文書（古文書纂所收）一通　（三三八）

三　重　縣

一〇八　御塩殿神庫文書　二通　（二〇三七、二〇三八）

一〇九　近長谷寺文書　一通　（二六七）

一一〇　四天王寺文書（津市）五通　（九八二、一二二八、一二九、一二三〇、一二三一）

一一一　神宮文庫文書

イ　神宮雜書文書　四通　（一六一五、二七九、三〇九六、三八四九）

ロ　神宮文庫文書　二通　（一三一、一七三）

ハ　櫟木文書　一九通　（二二七、二二八、二二九、二二三、二二四、二五〇六、二五四二、三〇六一、三〇六九、三〇七三、三〇七四、三〇七九、三二八三、三三二二、三三二三、三三二四、三三二五、三三二六、三三二八）　相馬御厨に關する文書である。

ニ　天　養　記　一〇通　（二二八二、二四〇八、二五〇一、二五〇二、二五〇三、二五〇四、二五〇五、二五〇八、二五〇九、二五一〇）　大庭御厨に關する文書を集めたものである。

ホ　類聚神祇本源裏文書　四通　（二五七五、二七一〇、三六三一、三六三三）

一一二　東大寺文書（三國地誌所收）一一通　（七〇九、七二五、七八九、一二八〇、一六二九、一六九九、一八二三、二二二六、二二七三、二四八三、三八二〇）　三國地誌古文書の卷に收めたものの中、他に所見のない東大寺文書のこの時代のもののみを擧げたものである。

一一三　二見鄕文書（宇治山田市神巫清白氏）七通　（四六一、九二三、九九八、二二六、二二六、二二二〇、二九一九）

一一四　妙高寺文書　二通　（二二二二、二二四三）

奈良縣

二五 石崎直矢氏所藏文書（奈良市）二一七通（九、一三、四〇七、五八八、五九五、六六、七一七、七三三、七四九、八七五、八八〇、八九四、一〇五八、一一七一、一一七三、一二五四、一二六四、一二〇六八、一二三四、一二六九四、一二七五、一二七六、一二七六、一二七六

一三三　千鳥文書　（奈良市千鳥祐順氏）　一通　（四〇六八）

一三四　筒井寛聖氏所藏文書　（奈良市）　三〇通　（一〇六四、一四三〇、一四三四、一四七〇、一四七一、一四七三、一四八一、一四九五、一四九八、一五三三、一五三四、一五三七、一五三八、一五三九、一六一三、一七三七、一七九一、二五三三、二五六八、二六九一、二七六九、二七七〇、二七八〇、二九八八、三四〇八、三四一六、三四七四、三六〇九、三八一四、三八四〇）何れも東大寺文書である。

一三五　天理圖書館所藏文書　七通　（一七八五、一八七二、二七九三、三九六九、四一三五、三二三七、四一四二）何れも東大寺文書である。

一三六　唐招提寺文書　（生駒郡都跡村）　一〇通　（一七一、一七三、一七八、一八二、一八七、一九一、一九九、八九五、一〇九八、一三九二）

一三七　東大寺文書　（奈良市）

イ　百卷本東大寺文書　一四一通　（二二九、二四九、二五〇、二五一、二五二、二五八、二五九、二四〇、二四二、二四五、二五三、四〇四、四九七、六一五、六一六、七一六、七二一、七四六、七六三、七九二、八〇七、八一五、八一九、八九八、九二五、一〇一六、一〇四八、一〇六二、一一〇一、一一三四、一一五五、一一六一、一一六二、一一九七、一二〇一、一二〇三、一二〇四、一二〇五、一二〇六、一二〇七、一二一七、一二二七、一四〇〇、一二四五、一二五二、一二五四、一二七七、一二九八、一四〇一、一四一〇、一五〇五、一五一一、一五一三、一五九六、一六四七、一六九五、一七一一、一七一七、一七二八、一八六七、一八七六、一九〇六、一九七二、一九七六、二〇〇二、二〇〇三、二〇四一、二〇五二、二〇五六、二〇七七、二一一〇、二一二一、二一二三、二一二九、二二〇四、二二四二、二二二一、二二二二、二二九一、二二九七、二四六三、二四六四、二四九九、二五二〇、二五三三、二五六一、二五六五、二五七四、二五七六、二六九六、二六七五、二七〇四、二七四〇、二四四八、二八三二、二八四九、二八五九、二八八六、二八九七、二九二一、二九九二、三〇四四、三〇九三、三一八〇、三二〇七、三二一二、三三六一、三三八二、三四〇一、三四五三、三四五四、三四六三、三四六五、三四八二、三四八五、三五〇〇、三五二〇、三五二〇、三五二九、三五五八、三五七一、三五九九、三六六八、三六七〇、三七二四、三七七九、三七八三、三八三〇、三八六六、三八九九、三九〇〇、三九二七、三九五五、三九七七、四〇〇五、四〇〇六）本書は東大寺圖書館の所藏にかゝる古文書の中、明治二十九年同寺の有識者によつて卷子本に仕立てられたもので、全部で九十六卷あるが、學界ではこれを百卷本東大寺文書或は成卷文書として知られてゐる。

ロ　東大寺文書　七八四通　（七、八、三二、四四、一三三、一三四、一四八、一五一、三二八、三二九、三七八、三八〇、三八一、三八二、三八三、三八四、三八八、三九一、三九五、

三八五、三八六、四〇一、四二四、四三二、四七七、四九五、四九八、四七一、四七二、四八五、五二三、五二五、五二四、五九〇、五九八、六〇三、六〇三、六〇五一、六〇三、六〇四、六〇五、六〇六、六〇九、六〇七、六〇二、六〇三、六〇八、六〇九、六一〇、六一一、六一二、六一九、六二〇、六二一、六二五、六二六、六二七、六二八、六二九、六二〇、六二一、六二二、六二三、六二四

二二四八、二二四九、二二五〇、二二五二、二二五六、二二五八、二二五九、二二六四、二二六五、二二六七、二二六八、二二六九、二二七一、二二七二、二二七四、二二七五、二二七六、二二七八、二二七九、二二八一、二二八九、二二九二、二二九四、二二九五、二二九六、二二九八、二二九九、二二九四、二二九五、二二九六、二二九八、二二九九、二二九四、二二九五、二二九六、二二九八、二二九九

三九三、三九四、三九四一、三九四八、三九五六、三九六三、三九六五、三九六六、三九九一、四〇〇四、四〇一三、四〇三六、四〇五六、四〇六七、四〇七六、四〇九四、四一六二）この文書は、嘗て中村直勝博士によつて、極く大雑把に荘園別分類をして一括づゝとされ、而も未成巻のまゝのものである。

イ　春華秋月抄裏文書　三通　（一八三五、三六八二、三三八）

ニ　探玄記裏文書　一通　（一八四）

ホ　華厳断惑抄裏文書　二通　（三七四、四三九）

ヘ　法華論義抄裏文書　一通　（三六九）

ト　唯識論第五巻問答抄（宗性筆）裏文書　八通　（四一七、四一八二、四一八三、四一八四、四一九四、四一九五、四一九六、四一九七）

一三八　東南院文書（奈良市正倉院）三六九通　（一、二、三、六、一〇、一一、一七、二一、二四、二五、二六、二八、三三、三七、四〇、四一、四五、六三、六七、七一、七三、七四、七五、八一、八二、八三、八六、八七、九二、九九、一〇〇、一〇二、一三〇、一四〇、一四三、一五〇、一七四、一八五、一八九、一九五、一九八、二一〇、二一一、二一三、二三五、二三六、二五四、二五五、二六五、二七一、二七四、二七五、二七七、二七八、二七九、二八〇、二八一、二八二、二八五、二八六、二八九、二九〇、二九一、二九八、二九九、三〇〇、三〇一、三〇二、三〇五、三〇六、三〇八、三〇九、三一〇、三一一、三一八、三一九、三二〇、三二一、三二三、三二四、三二五、三二六、三二七、三二八、三二九、三四〇、三四一、三四三、三四四、三四五、三四八、三四九、三五〇、三五一、三五三、三五八、三六〇、四四〇、四四一、四四三、五〇八、五〇九、五一〇、五六〇、六〇三、六〇四、六〇八、六〇九、六一〇、六一一、六一八、六一九、六二〇、六二一、六二三、六二四、六二五、六二六、六二七、六二八、六二九、六三〇、六四一、六四三、六四四、六四五、六四八、六四七、六四八、六五四、六五五、六五六、六五七、六五八、六五九、六六〇、六六六、六六九、七一八、七一九、七二九、七五一、七五二、七五七、七五八、七五九、七六〇、七六四、七六五、七六六、七六七、七六八、七六九、七七〇、七七一、七七二、七七三、七七四、七七五、七七六、七七七、八〇一、八〇二、八〇三、八〇五、八〇六、八一四、八一〇、八二三、八二五、八二三、八二四、八二五、八二六、八二七、八二八、八二九、八三〇、八三一、八三二、八三三、八三四、八三五、八三六、八三七、八三八、八三九、八四〇、八四一、八四五、八四六、八四七、八四八、八四九、八五〇、八五一、八五二、八五三、八五四、八五五、八五六、八五七、八五八、八五九、八六〇、八六一、八六二、八六三、八六四、八六五、八六六、八六七、八六八、八六九、八七〇、八七一、八七二、八七三、八七四、八七五、八七六、八七七、八七八、八七九、八八〇、八八一、八八二、八八三、八八四、八八五、八八六、八八七、八八八、八八九、八九〇、八九一、八九二、八九三、八九四、八九五、八九六、八九七、八九八、八九九、九〇〇、九〇一、九〇二、九〇三、九〇四、九〇五、九〇六、九〇七、九〇八、九〇九、九一〇、九一一、九一二、九一三、九一四、九一五、九一六、九一七、九一八、九一九、九二〇、九二一、九二二、九二三、九二四、九二五、九二六、九二七、九二八、九二九、九三〇、九三一、九三二、九三三、九三四、九三五、九三六、九三七、九三八、九三九、九四〇、九四一、九四五、九四六、九四七、九四八、九四九、九五〇、九五一、九五二、九五三、九五四、九五五、九五六、九五七、九五八、九五九、九六〇、九六一、九六二、九六三、九六四、九六五、九六六、九六七、九六八、九六九、九七〇、九七一、九七二、九七三、九七四、九七五、九七六、九七七、九七八、九七九、九八〇、九八一、九八二、九八三、九八四、九八五、九八六、九八七、九八八、九八九、九九〇、九九一、九九二、九九三、九九四、九九五、九九六、九九七、九九八、九九九、一〇〇〇、一〇〇一、一〇〇二、一〇〇八、一〇〇九、一〇一〇、一〇一四、一〇一五、一〇一六、一〇一七、一〇一八、一〇一九、一〇二〇、一〇二一、一〇二二、一〇二三、一〇二四、一〇二五、一〇二六、一〇二七、一〇二八、一〇二九、一〇三〇、一〇三一、一〇三二、一〇三三、一〇三四、一〇三五、一〇三六、一〇三七、一〇三八、一〇三九、一〇四〇、一〇四一、一〇四二、一〇四三、一〇四四、一〇四五、一〇四六、一〇四七、一〇四八、一〇四九、一〇五〇、一〇五一、一〇五二、一〇五三、一〇五四、一〇五五、一〇五六、一〇五七、一〇五八、一〇五九、一〇六〇、一〇六一、一〇六二、一〇六三、一〇六四、一〇六五、一〇六六、一〇六七、一〇六八、一〇六九、一〇七〇、一〇七一、一〇七二、一〇七三、一〇七四、一〇七五、一〇七六、一〇七七、一〇七八、一〇七九、一〇八〇、一〇八一、一〇八二、一〇八三、一〇八四、一〇八五、一〇八六、一〇八七、一〇八八、一〇八九、一〇九〇、一〇九一、一〇九二、一〇九三、一〇九四、一〇九五、一〇九六、一〇九七、一〇九八、一〇九九、一一〇〇、一一〇一、一一〇二、一一〇三、一一〇四、一一〇五、一一〇六、一一〇七、一一〇八、一一〇九

一六〇二、一六一〇、一六一一、一六一三、一六一八、一六一九、一六二三、一六二四、一六三六、一六三七、一六六一、一六七四、一七一八、一七四三、一七五八、一七八〇、一七九三、一七九四、一八〇三、一八一〇、一八二二、一八三六、一八三九、一八四三、一八四四、一八五九、一八六四、一八六五、一八六九、一八七〇、一八七七、一八八三、一八八七、一八八九、一九四〇、一九四六、一九八七、一九八八、一九九〇、二〇〇〇、二〇〇一、二〇〇四、二〇一七、二〇九〇、二一一〇、二一二五、二二九〇、二三二八、二三五五、二三六六、二三六六、二三六五、二三七六、二三四四、二四〇六、二四二三、二四五六、二四五九、二五〇〇、二五六三、二五六〇、二五六五、二五六七、二五六九、二五九〇、二五九九、二六〇〇、二六一七、二七七八、二八三三、二八三四、二八七三、二九〇〇、三〇三九、三〇三九、三二三三、三三四八、三三五〇、三三五〇、三三五五、三三五五、三三五五、三三五五、三三六五、三三七〇、三三三一、三三七〇、三三八〇、三三九〇、三三九一、三三八六、三三九三、三六〇一、三六四三、三七七三、三七六一、三六九六、三九三〇、三九三三、三九三五、四〇〇六、四〇八六、三九四〇、四〇八七）東南院文書は、東大寺の舊一院であつたが、近世廢絶し、明治初年その文書は正倉院に献納せられたものである。

一二九　中村雅眞氏所藏文書（奈良市）一一通（四〇〇五、四二六、四二三、四二四、五八二、六八七、一七三五、一八六八、一九三九、一九四、一九九二）何れも東大寺文書である。

一三〇　法隆寺文書（生駒郡法隆寺町）四七通（六三九、六九四、一二四一、一二四二、一三一三、一三七七、一四〇〇、一四四四、一六八六、一七三三、一八一九、一九〇九、一九四四、一九五四、一九八六、二〇三二、二〇四七、二一〇五、二一一六、二一一七、二一八三、二一八四、二三二三、二三二九、二三三九、二三三〇、二三四六、二三四七、二三八五、二四三七、二五九五、二七四七、二七六八、二九八〇、二九八七、三〇〇四、三三七一、三三七三、三三九二、三四八六、三四八七、三五三三、三五五二、三五九二、三六八二、三九四五、四〇〇三）

一三一　水木直箭氏所藏文書（郡山市）一八通（一三六二、一三六三、一三七六、一八九四、一八九六、一八九七、一八九八、一八九九、一九三四、一九四四、一九四五、二〇〇三、二〇〇七）何れも東大寺文書である。

一三二　藥師院保實氏所藏文書（奈良市）一二通（五、一四、二〇、三一、四二、一六八、二〇八、一六〇一、一五二三、二七七二、三六〇〇、四八二七）何れも東大寺文書である。最近東大寺圖書館に寄進された。但し、五以下二〇八までは既に散逸した。

一三三　保井芳太郎氏所藏文書（郡山市）二通（二六三、四〇〇七）何れも東大寺文書。なほ同氏の舊藏にかゝる東大寺文書の多くは、最近天理圖書館に歸した。

京都府

一三四　阿刀文書（京都市阿刀弘文氏）一通（一九〇三）

一三五　雨宮善四郎氏所藏文書（京都市）四通（二〇〇八、三五四〇、三六八三、四〇七三）

一三六　安樂壽院古文書（紀伊郡）七通（二三七七、二四七七、二七八一、二八七七、二九六八、三六八九、三七七四）

一三七　石清水文書（綴喜郡八幡町）二七通（三三〇〇、三六六、四九四、四九五、五〇〇、一〇七八、一二四七、一七七九、一八八五、一九七九、二三三三、二三七、二三九八、二三九九、二四七一、二七九四、二八九六、二九〇三、三三九三、三三九八、三四九八、三五一一、三五七七、三六七九、三七三六、三九〇三、四〇八五）田中家及び菊大路家文書を併せ、東京大學史料編纂所より出版された。

一三八　小川陸之助氏所藏文書（京都市）一通（三三）

一三九　大谷大學所藏文書（京都市）一通（二〇〇二）

一四〇　大橋重喜氏所藏文書　九通（六六八、八五五、一〇三一、一〇六六、一二六〇、一八七八、二六二七、二九四九、三二四〇）主として東大寺文書を含む。

一四一　賀茂別雷神社文書（京都市）八通（一二七四、一二七六、二四〇一、二九七七、四〇八四、四〇九八、四〇九九、四一一）

一四二　勸修寺文書（京都市）三通（二八六九、二八七〇、三〇四一）

一四三　勸修寺家文書（京都市）二通（二八二一、二三八八）但し永昌記裏文書である。

一四四　神田喜一郎氏所藏文書（京都市）一一通（五五三、五五四、六二七、六二九、六三〇、一九二三、一〇八九、二三〇六、二三六七、二四一七、二六四二）すべて三鈷寺文書の原本である。

一四五　吉川鑑華氏所藏文書（京都市）一通（四五二）弘福寺文書である。

一四六　京都大學所藏文書（京都市）

イ　大東文書　一四通（一七〇五、一七〇八、二七六八、二五七七、二六六二、二八七四、二八七五、二八七六、二八七七、二八八〇、二八八一、二八八二、二八八三、二九一七）

ロ　東大寺文書　四四通　（六五八、七三八、七四五、八七六、八七九、一〇二八、一四九八、一五三五、一五三六、一五三〇、一五三六、一六四四、一八四一、一八四五、二〇七一、二〇八六、二三七九、二三四九、二四四九、二五三七、二六一八、二六一九、二六八一、二七九一、二九六六、二九四二、二九七五、二九八一、三一二三、三一四一、三一七八、三二五三、三三〇一、三三一六、三四一三、三四八一、三四九五、三七一一、三七六八、三七七七、三七九四、三八一〇、三八九三）

ハ　古文書纂　八通　（七一七、九八〇、一〇三一、一三六九、一九六六、一九六八、一九六一、四一二一）

ニ　古文書集　一〇通　（一四三五、一六四四、一七一五、二〇四九、二五四五、二五六一、二七四二、二三七九、四〇七八、四一一〇）

一四七　御府文書（京都市東山御文庫）四通　（四一八、四九九、一三〇九、一三一〇）

一四八　九條家文書

イ　延喜式裏文書　七九通　（一九二一、一九三一、一九四一、一九五一、一九六一、一九七一、一九八一、一九九一、二〇〇一、二一三一、二一三一、二一七一、二四五一、二四九一、二五〇一、二五〇四、二五〇五、二五〇六、二五一四、二五一六、二五一六、二五一七、二五一八、二五一九、二五二〇、二五二一、二五二二、二五二三、二五二四、二五二五、二五二六、二五二七、二五二八、二五二九、二五三〇、二五三一、二五三二、二五三三、二五三四、二五三五、二五三六、二五三八、二五三九、二五四〇、二五四一、二五四二、二五四三、二五四四、二五四五、二五四六、二五四八、二五四九、二五五〇、二五五一、二五五二、二五五三、二五五四、二五五五、二五五六、二五五七、二五五八、二五五九、二五六一、二五六二、二五六三、二五六四、二五六五、二五六六、二五六七、二五六八、二五六九、二七〇、二七一、二七二、二七三、二七四、二七五、二七六、二七七、二七八、二七九、二七一〇、二七一一、二七一二、二七一三、二七一四、二七一五、二七一六、二七一七、二七一八、二七一九、二七二〇、二七二一、二七二二、二七二三、二七二四、二七二五、二七二六、二七二七、二七二八、二七二九、二七三〇、二七三一、二七三二、二七三三、二七三四、二七三五、二七三六、二七三七、二七三八、二七三九、二七四〇、二七四一、二七四二、二七四三、二七四四、二七四五、二七四六、二七四七、二七四八、二七四九、二七五〇、二七五一、二七五二、二七五三、二七五四、二七五五、二七五六、二七五七、二七五八、二七五九、二七六〇、二七六一、二七六二、二七六三、二七六四、二七六五、二七六六、二七六七、二七六八、二七六九、二七七〇、二七七一、二七七二、二七七三、二七七四、二七七五、二七七六、二七七七、二七七八、二七七九、二七八〇、二七八一、二七八二、二七八三、二七八四、二七八五、二七八六、二七八七、二七八八、二七八九、二七九〇、二七九一、二七九二、二七九三、二七九四、二七九五、二七九六、二七九七、二七九八、二七九九、二七一〇〇、二七一〇一、二七一〇二、二七一〇三、二七一〇四、二七一〇五、二七一〇六、二七一〇七、二七一〇八、二七一〇九、二七一一〇、二七一一一、二七一一二、二七一一三、二七一一四、二七一一五、二七一一六、二七一一七、二七一一八、二七一一九、二七一二〇、二七一二一、二七一二二、二七一二三、二七一二四、二七一二五、二七一二六、二七一二七、二七一二八、二七一二九、二七一三〇、二七一三一、二七一三二、二七一三三、二七一三四、二七一三五、二七一三六、二七一三七、二七一三八、二七一三九、二七一四〇、二七一四一、二七一四二、二七一四三、二七一四四、二七一四五、二七一四六、二七一四七、二七一四八、二七一四九、二七一五〇、二七一五一、二七一五二、二七一五三、二七一五四、二七一五五、二七一五六、二七一五七、二七一五八、二七一五九、二七一六〇、二七一六一、二七一六二、二七一六三、二七一六四、二七一六五、二七一六六、二七一六七、二七一六八、二七一六九、二七一七〇、二七一七一、二七一七二、二七一七三、二七一七四、二七一七五、二七一七六、二七一七七、二七一七八、二七一七九、二七一八〇、二七一八一、二七一八二、二七一八三、二七一八四、二七一八五、二七一八六、二七一八七、二七一八八、二七一八九、二七一九〇、二七一九一、二七一九二、二七一九三、二七一九四、二七一九五、二七一九六、二七一九七、二七一九八、二七一九九、二七二〇〇、二七二〇一、二七二〇二、二七二〇三、二七二〇四、二七二〇五、二七二〇六、二七二〇七、二七二〇八、二七二〇九、二七二一〇、二七二一一、二七二一二、二七二一三、二七二一四、二七二一五、二七二一六、二七二一七、二七二一八、二七二一九、二七二二〇、二七二二一、二七二二二、二七二二三、二七二二四、二七二二五、二七二二六、二七二二七、二七二二八、二七二二九、二七二三〇、二七二三一、二七二三二、二七二三三、二七二三四、二七二三五、二七二三六、二七二三七、二七二三八、二七二三九、二七二四〇、二七二四一、二七二四二、二七二四三、二七二四四、二七二四五、二七二四六、二七二四七、二七二四八、二七二四九、二七二五〇、二七二五一、二七二五二、二七二五三、二七二五四、二七二五五、二七二五六、二七二五七、二七二五八、二七二五九、二七二六〇、二七二六一、二七二六二、二七二六三、二七二六四、二七二六五、二七二六六、二七二六七、二七二六八、二七二六九、二七二七〇、二七二七一、二七二七二、二七二七三、二七二七四、二七二七五、二七二七六、二七二七七、二七二七八、二七二七九、二七二八〇、二七二八一、二七二八二、二七二八三、二七二八四、二七二八五、二七二八六、二七二八七、二七二八八、二七二八九、二七二九〇、二七二九一、二七二九二、二七二九三、二七二九四、二七二九五、二七二九六、二七二九七、二七二九八、二七二九九、二七三〇〇、二七三〇一、二七三〇二、二七三〇三、二七三〇四、二七三〇五、二七三〇六、二七三〇七、二七三〇八、二七三〇九、二七三一〇、二七三一一、二七三一二、二七三一三、二七三一四、二七三一五、二七三一六、二七三一七、二七三一八、二七三一九、二七三二〇、二七三二一、二七三二二、二七三二三、二七三二四、二七三二五、二七三二六、二七三二七、二七三二八、二七三二九、二七三三〇、二七三三一、二七三三二、二七三三三、二七三三四、二七三三五、二七三三六、二七三三七、二七三三八、二七三三九、二七三四〇、二七三四一、二七三四二、二七三四三、二七三四四、二七三四五、二七三四六、二七三四七、二七三四八、二七三四九、二七三五〇、二七三五一、二七三五二、二七三五三、二七三五四、二七三五五、二七三五六、二七三五七、二七三五八、二七三五九、二七三六〇、二七三六一、二七三六二、二七三六三、二七三六四、二七三六五、二七三六六、二七三六七、二七三六八、二七三六九、二七三七〇、二七三七一、二七三七二、二七三七三、二七三七四、二七三七五、二七三七六、二七三七七、二七三七八、二七三七九、二七三八〇、二七三八一、二七三八二、二七三八三、二七三八四、二七三八五、二七三八六、二七三八七、二七三八八、二七三八九、二七三九〇、二七三九一、二七三九二、二七三九三、二七三九四、二七三九五、二七三九六、二七三九七、二七三九八、二七三九九、二七四〇〇、二七四〇一、二七四〇二、二七四〇三、二七四〇四、二七四〇五、二七四〇六、二七四〇七、二七四〇八、二七四〇九、二七四一〇、二七四一一、二七四一二、二七四一三、二七四一四、二七四一五、二七四一六、二七四一七、二七四一八、二七四一九、二七四二〇、二七四二一、二七四二二、二七四二三、二七四二四、二七四二五、二七四二六、二七四二七、二七四二八、二七四二九、二七四三〇、二七四三一、二七四三二、二七四三三、二七四三四、二七四三五、二七四三六、二七四三七、二七四三八、二七四三九、二七四四〇、二七四四一、二七四四二、二七四四三、二七四四四、二七四四五、二七四四六、二七四四七、二七四四八、二七四四九、二七四五〇、二七四五一、二七四五二、二七四五三、二七四五四、二七四五五、二七四五六、二七四五七、二七四五八、二七四五九、二七四六〇、二七四六一、二七四六二、二七四六三、二七四六四、二七四六五、二七四六六、二七四六七、二七四六八、二七四六九、二七四七〇、二七四七一、二七四七二、二七四七三、二七四七四、二七四七五、二七四七六、二七四七七、二七四七八、二七四七九、二七四八〇、二七四八一、二七四八二、二七四八三、二七四八四、二七四八五、二七四八六、二七四八七、二七四八八、二七四八九、二七四九〇、二七四九一、二七四九二、二七四九三、二七四九四、二七四九五、二七四九六、二七四九七、二七四九八、二七四九九、二七五〇〇、二七五〇一、二七五〇二、二七五〇三、二七五〇四、二七五〇五、二七五〇六、二七五〇七、二七五〇八、二七五〇九、二七五一〇、二七五一一、二七五一二、二七五一三、二七五一四、二七五一五、二七五一六、二七五一七、二七五一八、二七五一九、二七五二〇、二七五二一、二七五二二、二七五二三、二七五二四、二七五二五、二七五二六、二七五二七、二七五二八、二七五二九、二七五三〇、二七五三一、二七五三二、二七五三三、二七五三四、二七五三五、二七五三六、二七五三七、二七五三八、二七五三九、二七五四〇、二七五四一、二七五四二、二七五四三、二七五四四、二七五四五、二七五四六、二七五四七、二七五四八、二七五四九、二七五五〇、二七五五一、二七五五二、二七五五三、二七五五四、二七五五五、二七五五六、二七五五七、二七五五八、二七五五九、二七五六〇、二七五六一、二七五六二、二七五六三、二七五六四、二七五六五、二七五六六、二七五六七、二七五六八、二七五六九、二七五七〇、二七五七一、二七五七二、二七五七三、二七五七四、二七五七五、二七五七六、二七五七七、二七五七八、二七五七九、二七五八〇、二七五八一、二七五八二、二七五八三、二七五八四、二七五八五、二七五八六、二七五八七、二七五八八、二七五八九、二七五九〇、二七五九一、二七五九二、二七五九三、二七五九四、二七五九五、二七五九六、二七五九七、二七五九八、二七五九九、二七六〇〇、二七六〇一、二七六〇二、二七六〇三、二七六〇四、二七六〇五、二七六〇六、二七六〇七、二七六〇八、二七六〇九、二七六一〇、二七六一一、二七六一二、二七六一三、二七六一四、二七六一五、二七六一六、二七六一七、二七六一八、二七六一九、二七六二〇、二七六二一、二七六二二、二七六二三、二七六二四、二七六二五、二七六二六、二七六二七、二七六二八、二七六二九、二七六三〇、二七六三一、二七六三二、二七六三三、二七六三四、二七六三五、二七六三六、二七六三七、二七六三八、二七六三九、二七六四〇、二七六四一、二七六四二、二七六四三、二七六四四、二七六四五、二七六四六、二七六四七、二七六四八、二七六四九、二七六五〇、二七六五一、二七六五二、二七六五三、二七六五四、二七六五五、二七六五六、二七六五七、二七六五八、二七六五九、二七六六〇、二七六六一、二七六六二、二七六六三、二七六六四、二七六六五、二七六六六、二七六六七、二七六六八、二七六六九、二七六七〇、二七六七一、二七六七二、二七六七三、二七六七四、二七六七五、二七六七六、二七六七七、二七六七八、二七六七九、二七六八〇、二七六八一、二七六八二、二七六八三、二七六八四、二七六八五、二七六八六、二七六八七、二七六八八、二七六八九、二七六九〇、二七六九一、二七六九二、二七六九三、二七六九四、二七六九五、二七六九六、二七六九七、二七六九八、二七六九九、二七七〇〇、二七七〇一、二七七〇二、二七七〇三、二七七〇四、二七七〇五、二七七〇六、二七七〇七、二七七〇八、二七七〇九、二七七一〇、二七七一一、二七七一二、二七七一三、二七七一四、二七七一五、二七七一六、二七七一七、二七七一八、二七七一九、二七七二〇、二七七二一、二七七二二、二七七二三、二七七二四、二七七二五、二七七二六、二七七二七、二七七二八、二七七二九、二七七三〇、二七七三一、二七七三二、二七七三三、二七七三四、二七七三五、二七七三六、二七七三七、二七七三八、二七七三九、二七七四〇、二七七四一、二七七四二、二七七四三、二七七四四、二七七四五、二七七四六、二七七四七、二七七四八、二七七四九、二七七五〇、二七七五一、二七七五二、二七七五三、二七七五四、二七七五五、二七七五六、二七七五七、二七七五八、二七七五九、二七七六〇、二七七六一、二七七六二、二七七六三、二七七六四、二七七六五、二七七六六、二七七六七、二七七六八、二七七六九、二七七七〇、二七七七一、二七七七二、二七七七三、二七七七四、二七七七五、二七七七六、二七七七七、二七七七八、二七七七九、二七七八〇、二七七八一、二七七八二、二七七八三、二七七八四、二七七八五、二七七八六、二七七八七、二七七八八、二七七八九、二七七九〇、二七七九一、二七七九二、二七七九三、二七七九四、二七七九五、二七七九六、二七七九七、二七七九八、二七七九九、二七八〇〇、二七八〇一、二七八〇二、二七八〇三、二七八〇四、二七八〇五、二七八〇六、二七八〇七、二七八〇八、二七八〇九、二七八一〇、二七八一一、二七八一二、二七八一三、二七八一四、二七八一五、二七八一六、二七八一七、二七八一八、二七八一九、二七八二〇、二七八二一、二七八二二、二七八二三、二七八二四、二七八二五、二七八二六、二七八二七、二七八二八、二七八二九、二七八三〇、二七八三一、二七八三二、二七八三三、二七八三四、二七八三五、二七八三六、二七八三七、二七八三八、二七八三九、二七八四〇、二七八四一、二七八四二、二七八四三、二七八四四、二七八四五、二七八四六、二七八四七、二七八四八、二七八四九、二七八五〇、二七八五一、二七八五二、二七八五三、二七八五四、二七八五五、二七八五六、二七八五七、二七八五八、二七八五九、二七八六〇、二七八六一、二七八六二、二七八六三、二七八六四、二七八六五、二七八六六、二七八六七、二七八六八、二七八六九、二七八七〇、二七八七一、二七八七二、二七八七三、二七八七四、二七八七五、二七八七六、二七八七七、二七八七八、二七八七九、二七八八〇、二七八八一、二七八八二、二七八八三、二七八八四、二七八八五、二七八八六、二七八八七、二七八八八、二七八八九、二七八九〇、二七八九一、二七八九二、二七八九三、二七八九四、二七八九五、二七八九六、二七八九七、二七八九八、二七八九九、二七九〇〇、二七九〇一、二七九〇二、二七九〇三、二七九〇四、二七九〇五、二七九〇六、二七九〇七、二七九〇八、二七九〇九、二七九一〇、二七九一一、二七九一二、二七九一三、二七九一四、二七九一五、二七九一六、二七九一七、二七九一八、二七九一九、二七九二〇、二七九二一、二七九二二、二七九二三、二七九二四、二七九二五、二七九二六、二七九二七、二七九二八、二七九二九、二七九三〇、二七九三一、二七九三二、二七九三三、二七九三四、二七九三五、二七九三六、二七九三七、二七九三八、二七九三九、二七九四〇、二七九四一、二七九四二、二七九四三、二七九四四、二七九四五、二七九四六、二七九四七、二七九四八、二七九四九、二七九五〇、二七九五一、二七九五二、二七九五三、二七九五四、二七九五五、二七九五六、二七九五七、二七九五八、二七九五九、二七九六〇、二七九六一、二七九六二、二七九六三、二七九六四、二七九六五、二七九六六、二七九六七、二七九六八、二七九六九、二七九七〇、二七九七一、二七九七二、二七九七三、二七九七四、二七九七五、二七九七六、二七九七七、二七九七八、二七九七九、二七九八〇、二七九八一、二七九八二、二七九八三、二七九八四、二七九八五、二七九八六、二七九八七、二七九八八、二七九八九、二七九九〇、二七九九一、二七九九二、二七九九三、二七九九四、二七九九五、二七九九六、二七九九七、二七九九八、二七九九九、二八〇〇〇、二八〇〇一、二八〇〇二、二八〇〇三、二八〇〇四、二八〇〇五、二八〇〇六、二八〇〇七、二八〇〇八、二八〇〇九、二八〇一〇、二八〇一一、二八〇一二、二八〇一三、二八〇一四、二八〇一五、二八〇一六、二八〇一七、二八〇一八、二八〇一九、二八〇二〇、二八〇二一、二八〇二二、二八〇二三、二八〇二四、二八〇二五、二八〇二六、二八〇二七、二八〇二八、二八〇二九、二八〇三〇、二八〇三一、二八〇三二、二八〇三三、二八〇三四、二八〇三五、二八〇三六、二八〇三七、二八〇三八、二八〇三九、二八〇四〇、二八〇四一、二八〇四二、二八〇四三、二八〇四四、二八〇四五、二八〇四六、二八〇四七、二八〇四八、二八〇四九、二八〇五〇、二八〇五一、二八〇五二、二八〇五三、二八〇五四、二八〇五五、二八〇五六、二八〇五七、二八〇五八、二八〇五九、二八〇六〇、二八〇六一、二八〇六二、二八〇六三、二八〇六四、二八〇六五、二八〇六六、二八〇六七、二八〇六八、二八〇六九、二八〇七〇、二八〇七一、二八〇七二、二八〇七三、二八〇七四、二八〇七五、二八〇七六、二八〇七七、二八〇七八、二八〇七九、二八〇八〇、二八〇八一、二八〇八二、二八〇八三、二八〇八四、二八〇八五、二八〇八六、二八〇八七、二八〇八八、二八〇八九、二八〇九〇、二八〇九一、二八〇九二、二八〇九三、二八〇九四、二八〇九五、二八〇九六、二八〇九七、二八〇九八、二八〇九九、二八一〇〇、二八一〇一、二八一〇二、二八一〇三、二八一〇四、二八一〇五、二八一〇六、二八一〇七、二八一〇八、二八一〇九、二八一一〇、二八一一一、二八一一二、二八一一三、二八一一四、二八一一五、二八一一六、二八一一七、二八一一八、二八一一九、二八一二〇、二八一二一、二八一二二、二八一二三、二八一二四、二八一二五、二八一二六、二八一二七、二八一二八、二八一二九、二八一三〇、二八一三一、二八一三二、二八一三三、二八一三四、二八一三五、二八一三六、二八一三七、二八一三八、二八一三九、二八一四〇、二八一四一、二八一四二、二八一四三、二八一四四、二八一四五、二八一四六、二八一四七、二八一四八、二八一四九、二八一五〇、二八一五一、二八一五二、二八一五三、二八一五四、二八一五五、二八一五六、二八一五七、二八一五八、二八一五九、二八一六〇、二八一六一、二八一六二、二八一六三、二八一六四、二八一六五、二八一六六、二八一六七、二八一六八、二八一六九、二八一七〇、二八一七一、二八一七二、二八一七三、二八一七四、二八一七五、二八一七六、二八一七七、二八一七八、二八一七九、二八一八〇、二八一八一、二八一八二、二八一八三、二八一八四、二八一八五、二八一八六、二八一八七、二八一八八、二八一八九、二八一九〇、二八一九一、二八一九二、二八一九三、二八一九四、二八一九五、二八一九六、二八一九七、二八一九八、二八一九九、二八二〇〇、二八二〇一、二八二〇二、二八二〇三、二八二〇四、二八二〇五、二八二〇六、二八二〇七、二八二〇八、二八二〇九、二八二一〇、二八二一一、二八二一二、二八二一三、二八二一四、二八二一五、二八二一六、二八二一七、二八二一八、二八二一九、二八二二〇、二八二二一、二八二二二、二八二二三、二八二二四、二八二二五、二八二二六、二八二二七、二八二二八、二八二二九、二八二三〇、二八二三一、二八二三二、二八二三三、二八二三四、二八二三五、二八二三六、二八二三七、二八二三八、二八二三九、二八二四〇、二八二四一、二八二四二、二八二四三、二八二四四、二八二四五、二八二四六、二八二四七、二八二四八、二八二四九、二八二五〇、二八二五一、二八二五二、二八二五三、二八二五四、二八二五五、二八二五六、二八二五七、二八二五八、二八二五九、二八二六〇、二八二六一、二八二六二、二八二六三、二八二六四、二八二六五、二八二六六、二八二六七、二八二六八、二八二六九、二八二七〇、二八二七一、二八二七二、二八二七三、二八二七四、二八二七五、二八二七六、二八二七七、二八二七八、二八二七九、二八二八〇、二八二八一、二八二八二、二八二八三、二八二八四、二八二八五、二八二八六、二八二八七、二八二八八、二八二八九、二八二九〇、二八二九一、二八二九二、二八二九三、二八二九四、二八二九五、二八二九六、二八二九七、二八二九八、二八二九九、二八三〇〇、二八三〇一、二八三〇二、二八三〇三、二八三〇四、二八三〇五、二八三〇六、二八三〇七、二八三〇八、二八三〇九、二八三一〇、二八三一一、二八三一二、二八三一三、二八三一四、二八三一五、二八三一六、二八三一七、二八三一八、二八三一九、二八三二〇、二八三二一、二八三二二、二八三二三、二八三二四、二八三二五、二八三二六、二八三二七、二八三二八、二八三二九、二八三三〇、二八三三一、二八三三二、二八三三三、二八三三四、二八三三五、二八三三六、二八三三七、二八三三八、二八三三九、二八三四〇、二八三四一、二八三四二、二八三四三、二八三四四、二八三四五、二八三四六、二八三四七、二八三四八、二八三四九、二八三五〇、二八三五一、二八三五二、二八三五三、二八三五四、二八三五五、二八三五六、二八三五七、二八三五八、二八三五九、二八三六〇、二八三六一、二八三六二、二八三六三、二八三六四、二八三六五、二八三六六、二八三六七、二八三六八、二八三六九、二八三七〇、二八三七一、二八三七二、二八三七三、二八三七四、二八三七五、二八三七六、二八三七七、二八三七八、二八三七九、二八三八〇、二八三八一、二八三八二、二八三八三、二八三八四、二八三八五、二八三八六、二八三八七、二八三八八、二八三八九、二八三九〇、二八三九一、二八三九二、二八三九三、二八三九四、二八三九五、二八三九六、二八三九七、二八三九八、二八三九九、二八四〇〇、二八四〇一、二八四〇二、二八四〇三、二八四〇四、二八四〇五、二八四〇六、二八四〇七、二八四〇八、二八四〇九、二八四一〇、二八四一一、二八四一二、二八四一三、二八四一四、二八四一五、二八四一六、二八四一七、二八四一八、二八四一九、二八四二〇、二八四二一、二八四二二、二八四二三、二八四二四、二八四二五、二八四二六、二八四二七、二八四二八、二八四二九、二八四三〇、二八四三一、二八四三二、二八四三三、二八四三四、二八四三五、二八四三六、二八四三七、二八四三八、二八四三九、二八四四〇、二八四四一、二八四四二、二八四四三、二八四四四、二八四四五、二八四四六、二八四四七、二八四四八、二八四四九、二八四五〇、二八四五一、二八四五二、二八四五三、二八四五四、二八四五五、二八四五六、二八四五七、二八四五八、二八四五九、二八四六〇、二八四六一、二八四六二、二八四六三、二八四六四、二八四六五、二八四六六、二八四六七、二八四六八、二八四六九、二八四七〇、二八四七一、二八四七二、二八四七三、二八四七四、二八四七五、二八四七六、二八四七七、二八四七八、二八四七九、二八四八〇、二八四八一、二八四八二、二八四八三、二八四八四、二八四八五、二八四八六、二八四八七、二八四八八、二八四八九、二八四九〇、二八四九一、二八四九二、二八四九三、二八四九四、二八四九五、二八四九六、二八四九七、二八四九八、二八四九九、二八五〇〇、二八五〇一、二八五〇二、二八五〇三、二八五〇四、二八五〇五、二八五〇六、二八五〇七、二八五〇八、二八五〇九、二八五一〇、二八五一一、二八五一二、二八五一三、二八五一四、二八五一五、二八五一六、二八五一七、二八五一八、二八五一九、二八五二〇、二八五二一、二八五二二、二八五二三、二八五二四、二八五二五、二八五二六、二八五二七、二八五二八、二八五二九、二八五三〇、二八五三一、二八五三二、二八五三三、二八五三四、二八五三五、二八五三六、二八五三七、二八五三八、二八五三九、二八五四〇、二八五四一、二八五四二、二八五四三、二八五四四、二八五四五、二八五四六、二八五四七、二八五四八、二八五四九、二八五五〇、二八五五一、二八五五二、二八五五三、二八五五四、二八五五五、二八五五六、二八五五七、二八五五八、二八五五九、二八五六〇、二八五六一、二八五六二、二八五六三、二八五六四、二八五六五、二八五六六、二八五六七、二八五六八、二八五六九、二八五七〇、二八五七一、二八五七二、二八五七三、二八五七四、二八五七五、二八五七六、二八五七七、二八五七八、二八五七九、二八五八〇、二八五八一、二八五八二、二八五八三、二八五八四、二八五八五、二八五八六、二八五八七、二八五八八、二八五八九、二八五九〇、二八五九一、二八五九二、二八五九三、二八五九四、二八五九五、二八五九六、二八五九七、二八五九八、二八五九九、二八六〇〇、二八六〇一、二八六〇二、二八六〇三、二八六〇四、二八六〇五、二八六〇六、二八六〇七、二八六〇八、二八六〇九、二八六一〇、二八六一一、二八六一二、二八六一三、二八六一四、二八六一五、二八六一六、二八六一七、二八六一八、二八六一九、二八六二〇、二八六二一、二八六二二、二八六二三、二八六二四、二八六二五、二八六二六、二八六二七、二八六二八、二八六二九、二八六三〇、二八六三一、二八六三二、二八六三三、二八六三四、二八六三五、二八六三六、二八六三七、二八六三八、二八六三九、二八六四〇、二八六四一、二八六四二、二八六四三、二八六四四、二八六四五、二八六四六、二八六四七、二八六四八、二八六四九、二八六五〇、二八六五一、二八六五二、二八六五三、二八六五四、二八六五五、二八六五六、二八六五七、二八六五八、二八六五九、二八六六〇、二八六六一、二八六六二、二八六六三、二八六六四、二八六六五、二八六六六、二八六六七、二八六六八、二八六六九、二八六七〇、二八六七一、二八六七二、二八六七三、二八六七四、二八六七五、二八六七六、二八六七七、二八六七八、二八六七九、二八六八〇、二八六八一、二八六八二、二八六八三、二八六八四、二八六八五、二八六八六、二八六八七、二八六八八、二八六八九、二八六九〇、二八六九一、二八六九二、二八六九三、二八六九四、二八六九五、二八六九六、二八六九七、二八六九八、二八六九九、二八七〇〇、二八七〇一、二八七〇二、二八七〇三、二八七〇四、二八七〇五、二八七〇六、二八七〇七、二八七〇八、二八七〇九、二八七一〇、二八七一一、二八七一二、二八七一三、二八七一四、二八七一五、二八七一六、二八七一七、二八七一八、二八七一九、二八七二〇、二八七二一、二八七二二、二八七二三、二八七二四、二八七二五、二八七二六、二八七二七、二八七二八、二八七二九、二八七三〇、二八七三一、二八七三二、二八七三三、二八七三四、二八七三五、二八七三六、二八七三七、二八七三八、二八七三九、二八七四〇、二八七四一、二八七四二、二八七四三、二八七四四、二八七四五、二八七四六、二八七四七、二八七四八、二八七四九、二八七五〇、二八七五一、二八七五二、二八七五三、二八七五四、二八七五五、二八七五六、二八七五七、二八七五八、二八七五九、二八七六〇、二八七六一、二八七六二、二八七六三、二八七六四、二八七六五、二八七六六、二八七六七、二八七六八、二八七六九、二八七七〇、二八七七一、二八七七二、二八七七三、二八七七四、二八七七五、二八七七六、二八七七七、二八七七八、二八七七九、二八七八〇、二八七八一、二八七八二、二八七八三、二八七八四、二八七八五、二八七八六、二八七八七、二八七八八、二八七八九、二八七九〇、二八七九一、二八七九二、二八七九三、二八七九四、二八七九五、二八七九六、二八七九七、二八七九八、二八七九九、二八八〇〇、二八八〇一、二八八〇二、二八八〇三、二八八〇四、二八八〇五、二八八〇六、二八八〇七、二八八〇八、二八八〇九、二八八一〇、二八八一一、二八八一二、二八八一三、二八八一四、二八八一五、二八八一六、二八八一七、二八八一八、二八八一九、二八八二〇、二八八二一、二八八二二、二八八二三、二八八二四、二八八二五、二八八二六、二八八二七、二八八二八、二八八二九、二八八三〇、二八八三一、二八八三二、二八八三三、二八八三四、二八八三五、二八八三六、二八八三七、二八八三八、二八八三九、二八八四〇、二八八四一、二八八四二、二八八四三、二八八四四、二八八四五、二八八四六、二八八四七、二八八四八、二八八四九、二八八五〇、二八八五一、二八八五二、二八八五三、二八八五四、二八八五五、二八八五六、二八八五七、二八八五八、二八八五九、二八八六〇、二八八六一、二八八六二、二八八六三、二八八六四、二八八六五、二八八六六、二八八六七、二八八六八、二八八六九、二八八七〇、二八八七一、二八八七二、二八八七三、二八八七四、二八八七五、二八八七六、二八八七七、二八八七八、二八八七九、二八八八〇、二八八八一、二八八八二、二八八八三、二八八八四、二八八八五、二八八八六、二八八八七、二八八八八、二八八八九、二八八九〇、二八八九一、二八八九二、二八八九三、二八八九四、二八八九五、二八八九六、二八八九七、二八八九八、二八八九九、二八九〇〇、二八九〇一、二八九〇二、二八九〇三、二八九〇四、二八九〇五、二八九〇六、二八九〇七、二八九〇八、二八九〇九、二八九一〇、二八九一一、二八九一二、二八九一三、二八九一四、二八九一五、二八九一六、二八九一七、二八九一八、二八九一九、二八九二〇、二八九二一、二八九二二、二八九二三、二八九二四、二八九二五、二八九二六、二八九二七、二八九二八、二八九二九、二八九三〇、二八九三一、二八九三二、二八九三三、二八九三四、二八九三五、二八九三六、二八九三七、二八九三八、二八九三九、二八九四〇、二八九四一、二八九四二、二八九四三、二八九四四、二八九四五、二八九四六、二八九四七、二八九四八、二八九四九、二八九五〇、二八九五一、二八九五二、二八九五三、二八九五四、二八九五五、二八九五六、二八九五七、二八九五八、二八九五九、二八九六〇、二八九六一、二八九六二、二八九六三、二八九六四、二八九六五、二八九六六、二八九六七、二八九六八、二八九六九、二八九七〇、二八九七一、二八九七二、二八九七三、二八九七四、二八九七五、二八九七六、二八九七七、二八九七八、二八九七九、二八九八〇、二八九八一、二八九八二、二八九八三、二八九八四、二八九八五、二八九八六、二八九八七、二八九八八、二八九八九、二八九九〇、二八九九一、二八九九二、二八九九三、二八九九四、二八九九五、二八九九六、二八九九七、二八九九八、二八九九九、二九〇〇〇、二九〇〇一、二九〇〇二、二九〇〇三、二九〇〇四、二九〇〇五、二九〇〇六、二九〇〇七、二九〇〇八、二九〇〇九、二九〇一〇、二九〇一一、二九〇一二、二九〇一三、二九〇一四、二九〇一五、二九〇一六、二九〇一七、二九〇一八、二九〇一九、二九〇二〇、二九〇二一、二九〇二二、二九〇二三、二九〇二四、二九〇二五、二九〇二六、二九〇二七、二九〇二八、二九〇二九、二九〇三〇、二九〇三一、二九〇三二、二九〇三三、二九〇三四、二九〇三五、二九〇三六、二九〇三七、二九〇三八、二九〇三九、二九〇四〇、二九〇四一、二九〇四二、二九〇四三、二九〇四四、二九〇四五、二九〇四六、二九〇四七、二九〇四八、二九〇四九、二九〇五〇、二九〇五一、二九〇五二、二九〇五三、二九〇五四、二九〇五五、二九〇五六、二九〇五七、二九〇五八、二九〇五九、二九〇六〇、二九〇六一、二九〇六二、二九〇六三、二九〇六四、二九〇六五、二九〇六六、二九〇六七、二九〇六八、二九〇六九、二九〇七〇、二九〇七一、二九〇七二、二九〇七三、二九〇七四、二九〇七五、二九〇七六、二九〇七七、二九〇七八、二九〇七九、二九〇八〇、二九〇八一、二九〇八二、二九〇八三、二九〇八四、二九〇八五、二九〇八六、二九〇八七、二九〇八八、二九〇八九、二九〇九〇、二九〇九一、二九〇九二、二九〇九三、二九〇九四、二九〇九五、二九〇九六、二九〇九七、二九〇九八、二九〇九九、二九一〇〇、二九一〇一、二九一〇二、二九一〇三、二九一〇四、二九一〇五、二九一〇六、二九一〇七、二九一〇八、二九一〇九、二九一一〇、二九一一一、二九一一二、二九一一三、二九一一四、二九一一五、二九一一六、二九一一七、二九一一八、二九一一九、二九一二〇、二九一二一、二九一二二、二九一二三、二九一二四、二九一二五、二九一二六、二九一二七、二九一二八、二九一二九、二九一三〇、二九一三一、二九一三二、二九一三三、二九一三四、二九一三五、二九一三六、二九一三七、二九一三八、二九一三九、二九一四〇、二九一四一、二九一四二、二九一四三、二九一四四、二九一四五、二九一四六、二九一四七、二九一四八、二九一四九、二九一五〇、二九一五一、二九一五二、二九一五三、二九一五四、二九一五五、二九一五六、二九一五七、二九一五八、二九一五九、二九一六〇、二九一六一、二九一六二、二九一六三、二九一六四、二九一六五、二九一六六、二九一六七、二九一六八、二九一六九、二九一七〇、二九一七一、二九一七二、二九一七三、二九一七四、二九一七五、二九一七六、二九一七七、二九一七八、二九一七九、二九一八〇、二九一八一、二九一八二、二九一八三、二九一八四、二九一八五、二九一八六、二九一八七、二九一八八、二九一八九、二九一九〇、二九一九一、二九一九二、二九一九三、二九一九四、二九一九五、二九一九六、二九一九七、二九一九八、二九一九九、二九二〇〇、二九二〇一、二九二〇二、二九二〇三、二九二〇四、二九二〇五、二九二〇六、二九二〇七、二九二〇八、二九二〇九、二九二一〇、二九二一一、二九二一二、二九二一三、二九二一四、二九二一五、二九二一六、二九二一七、二九二一八、二九二一九、二九二二〇、二九二二一、二九二二二、二九二二三、二九二二四、二九二二五、二九二二六、二九二二七、二九二二八、二九二二九、二九二三〇、二九二三一、二九二三二、二九二三三、二九二三四、二九二三五、二九二三六、二九二三七、二九二三八、二九二三九、二九二四〇、二九二四一、二九二四二、二九二四三、二九二四四、二九二四五、二九二四六、二九二四七、二九二四八、二九二四九、二九二五〇、二九二五一、二九二五二、二九二五三、二九二五四、二九二五五、二九二五六、二九二五七、二九二五八、二九二五九、二九二六〇、二九二六一、二九二六二、二九二六三、二九二六四、二九二六五、二九二六六、二九二六七、二九二六八、二九二六九、二九二七〇、二九二七一、二九二七二、二九二七三、二九二七四、二九二七五、二九二七六、二九二七七、二九二七八、二九二七九、二九二八〇、二九二八一、二九二八二、二九二八三、二九二八四、二九二八五、二九二八六、二九二八七、二九二八八、二九二八九、二九二九〇、二九二九一、二九二九二、二九二九三、二九二九四、二九二九五、二九二九六、二九二九七、二九二九八、二九二九九、二九三〇〇、二九三〇一、二九三〇二、二九三〇三、二九三〇四、二九三〇五、二九三〇六、二九三〇七、二九三〇八、二九三〇九、二九三一〇、二九三一一、二九三一二、二九三一三、二九三一四、二九三一五、二九三一六、二九三一七、二九三一八、二九三一九、二九三二〇、二九三二一、二九三二二、二九三二三、二九三二四、二九三二五、二九三二六、二九三二七、二九三二八、二九三二九、二九三三〇、二九三三一、二九三三二、二九三三三、二九三三四、二九三三五、二九三三六、二九三三七、二九三三八、二九三三九、二九三四〇、二九三四一、二九三四二、二九三四三、二九三四四、二九三四五、二九三四六、二九三四七、二九三四八、二九三四九、二九三五〇、二九三五一、二九三五二、二九三五三、二九三五四、二九三五五、二九三五六、二九三五七、二九三五八、二九三五九、二九三六〇、二九三六一、二九三六二、二九三六三、二九三六四、二九三六五、二九三六六、二九三六七、二九三六八、二九三六九、二九三七〇、二九三七一、二九三七二、二九三七三、二九三七四、二九三七五、二九三七六、二九三七七、二九三七八、二九三七九、二九三八〇、二九三八一、二九三八二、二九三八三、二九三八四、二九三八五、二九三八六、二九三八七、二九三八八、二九三八九、二九三九〇、二九三九一、二九三九二、二九三九三、二九三九四、二九三九五、二九三九六、二九三九七、二九三九八、二九三九九、二九四〇〇、二九四〇一、二九四〇二、二九四〇三、二九四〇四、二九四〇五、二九四〇六、二九四〇七、二九四〇八、二九四〇九、二九四一〇、二九四一一、二九四一二、二九四一三、二九四一四、二九四一五、二九四一六、二九四一七、二九四一八、二九四一九、二九四二〇、二九四二一、二九四二二、二九四二三、二九四二四、二九四二五、二九四二六、二九四二七、二九四二八、二九四二九、二九四三〇、二九四三一、二九四三二、二九四三三、二九四三四、二九四三五、二九四三六

四〇四、四〇四七、四〇四八、四〇五六、四〇七四）

一五四　三千院文書（愛宕郡大原村）一通（八〇七）

一五五　三寶院文書（京都市）

イ　醍醐雜事記所收文書　九二通（二六四、二六八、二七九、二八八、四八七、五三五、五九一、一〇五〇、一〇五一、一〇六八、一〇九一、一〇九三、一一三一、一一三二、一一六四、一一六九、一一七一、一一七二、一一七〇〇、一九一一、一九七七、二一三一、二一三三、二一六〇、二一六四、二一八二、二二〇二、二二〇三、二三〇八、二三一九、二三一八、二三一九、二三四〇、二三四七、二三七七、二三八四、二三九八、二三九九、二三九五、二三九八、二三七〇、二三七一、二三七三、二三七四、二四一一、二四一二、二四二五、二四二九、二四三〇、二四三八、二四三九、二四四一、二四四二、二四四四、二四四八、二四四七、二四四八、二四四九、二四五〇、二四五一、二四五九、二四五七、二四五八、二四五九、二五八二、二五八三、二五八四、二五八五、二五八七、二五八八、二五八九、二五九〇、二五九一、二五九二、二五九三、二五九四、二五九五、二五九六、二五九七、二五九八、二五九九、二六〇〇、二六〇一、二六〇二、二六〇三、二六〇四、二六〇五、二六〇六、二六〇七、二六〇八、二六〇九、二六一〇、二六一一、二六一二、二六一三、二六一四、二六一五、二六一六、二六一七、二六一八、二六一九、二六二〇、二六二一、二六二二、二六二三、二六二四、二六二五、二六二六、二六二七、二六二八）主として醍醐寺領干係の文書である。

ロ　三寶院文書　一五通（二八五、一四一七、三三六八、三三六四、二四七八、二四八〇、二七六五、二七八九、二七九〇、二八八三、三五〇四、三七三三、三五三七、四〇三三、四一八九）

一五六　島田美彦氏所藏文書（京都市）七通（一八七五、一〇四八、一〇五一、一〇五四、三三一四、四一〇九、四一一四）

一五七　新熊野神社文書（京都市）一通（三九〇三）

一五八　神護寺文書（京都市）一二通（三三九、三五四、三五六七、三五九一、三五九二、三七五五、三九六、四〇一九、四〇二〇、四〇三一、四〇五〇、四〇五九）

一五九　隨心院文書（京都市）一通（一九四）

一六〇　禪定寺文書（綴喜郡）四通（四一七、一〇一四、二六九五、三九〇一）

一六一　田中忠三郎氏所藏文書（京都市）一〇通（四七〇、六五一、六九〇、六九一、一〇八三、一九一五、三三四五、三九六二、四〇四九、四〇九〇）

一六二　田中敎忠氏所藏文書（京都市）一一通（三三九〇、三六七七、三九〇六、三三四〇、三三八九、三三九五、三五三三、三五七五、三七七〇、三九九九、四一三三）

一六三　大德寺文書（京都市）六通（二一七七、二六四七、二八〇七、三五二八、三七一九、三七七八）

一四　長福寺文書（京都市）二通　（三四三、三四四）

一五　東寺文書（京都市）三二三通　（五、七、九、九、八〇、一六、一九、一六、一九、二〇九、二一四、二一五、二一八、二一九、二三四、二三五、二三六、二三四、二四一、二四四、二四七、二五五、二五八、二六六、二七〇、二七三、二七五、二七七、二七九、二八〇、二八六、二八七、二八九、二九〇、二九六、二九八、三〇三、三〇九、三一三、三一四、三一六、三一七、三一八、三一九、三二〇、三二六、三二七、三二八、三二九、三三〇、三三六、三三七、三四〇、三四一、三四二、三四三、三四四、三四五、三四六、三四七、三四八、三四九、三五〇、三五一、三五二、三五三、三五四、三五五、三五六、三五七、三五八、三五九、三六〇、三六一、三六二、三六三、三六四、三六五、三六六、三六七、三六八、三六九、三七〇、三七一、三七二、三七三、三七四、三七五、三七六、三七七、三七八、三七九、三八〇、三八一、三八二、三八三、三八四、三八五、三八六、三八七、三八八、三八九、三九〇、三九一、三九二、三九三、三九四、三九五、三九六、三九七、三九八、三九九、四〇〇、四〇一、四〇二、四〇三、四〇四、四〇五、四〇六、四〇七、四〇八、四〇九、四一〇、四一一、四一二、四一三、四一四、四一五、四一六、四一七、四一八、四一九、四二〇、四二一、四二二、四二三、四二四、四二五、四二六、四二七、四二八、四二九、四三〇、四三一、四三二、四三三、四三四、四三五、四三六、四三七、四三八、四三九、四四〇、四四一、四四二、四四三、四四四、四四五、四四六、四四七、四四八、四四九、四五〇、四五一、四五二、四五三、四五四、四五五、四五六、四五七、四五八、四五九、四六〇、四六一、四六二、四六三、四六四、四六五、四六六、四六七、四六八、四六九、四七〇、四七一、四七二、四七三、四七四、四七五、四七六、四七七、四七八、四七九、四八〇、四八一、四八二、四八三、四八四、四八五、四八六、四八七、四八八、四八九、四九〇、四九一、四九二、四九三、四九四、四九五、四九六、四九七、四九八、四九九、五〇〇、五〇一、五〇二、五〇三、五〇四、五〇五、五〇六、五〇七、五〇八、五〇九、五一〇、五一一、五一二、五一三、五一四、五一五、五一六、五一七、五一八、五一九、五二〇、五二一、五二二、五二三、五二四、五二五、五二六、五二七、五二八、五二九、五三〇、五三一、五三二、五三三、五三四、五三五、五三六、五三七、五三八、五三九、五四〇、五四一、五四二、五四三、五四四、五四五、五四六、五四七、五四八、五四九、五五〇、五五一、五五二、五五三、五五四、五五五、五五六、五五七、五五八、五五九、五六〇、五六一、五六二、五六三、五六四、五六五、五六六、五六七、五六八、五六九、五七〇、五七一、五七二、五七三、五七四、五七五、五七六、五七七、五七八、五七九、五八〇、五八一、五八二、五八三、五八四、五八五、五八六、五八七、五八八、五八九、五九〇、五九一、五九二、五九三、五九四、五九五、五九六、五九七、五九八、五九九、六〇〇、六〇一、六〇二、六〇三、六〇四、六〇五、六〇六、六〇七、六〇八、六〇九、六一〇、六一一、六一二、六一三、六一四、六一五、六一六、六一七、六一八、六一九、六二〇、六二一、六二二、六二三、六二四、六二五、六二六、六二七、六二八、六二九、六三〇、六三一、六三二、六三三、六三四、六三五、六三六、六三七、六三八、六三九、六四〇、六四一、六四二、六四三、六四四、六四五、六四六、六四七、六四八、六四九、六五〇、六五一、六五二、六五三、六五四、六五五、六五六、六五七、六五八、六五九、六六〇、六六一、六六二、六六三、六六四、六六五、六六六、六六七、六六八、六六九、六七〇、六七一、六七二、六七三、六七四、六七五、六七六、六七七、六七八、六七九、六八〇、六八一、六八二、六八三、六八四、六八五、六八六、六八七、六八八、六八九、六九〇、六九一、六九二、六九三、六九四、六九五、六九六、六九七、六九八、六九九、七〇〇、七〇一、七〇二、七〇三、七〇四、七〇五、七〇六、七〇七、七〇八、七〇九、七一〇、七一一、七一二、七一三、七一四、七一五、七一六、七一七、七一八、七一九、七二〇、七二一、七二二、七二三、七二四、七二五、七二六、七二七、七二八、七二九、七三〇、七三一、七三二、七三三、七三四、七三五、七三六、七三七、七三八、七三九、七四〇、七四一、七四二、七四三、七四四、七四五、七四六、七四七、七四八、七四九、七五〇、七五一、七五二、七五三、七五四、七五五、七五六、七五七、七五八、七五九、七六〇、七六一、七六二、七六三、七六四、七六五、七六六、七六七、七六八、七六九、七七〇、七七一、七七二、七七三、七七四、七七五、七七六、七七七、七七八、七七九、七八〇、七八一、七八二、七八三、七八四、七八五、七八六、七八七、七八八、七八九、七九〇、七九一、七九二、七九三、七九四、七九五、七九六、七九七、七九八、七九九、八〇〇、八〇一、八〇二、八〇三、八〇四、八〇五、八〇六、八〇七、八〇八、八〇九、八一〇、八一一、八一二、八一三、八一四、八一五、八一六、八一七、八一八、八一九、八二〇、八二一、八二二、八二三、八二四、八二五、八二六、八二七、八二八、八二九、八三〇、八三一、八三二、八三三、八三四、八三五、八三六、八三七、八三八、八三九、八四〇、八四一、八四二、八四三、八四四、八四五、八四六、八四七、八四八、八四九、八五〇、八五一、八五二、八五三、八五四、八五五、八五六、八五七、八五八、八五九、八六〇、八六一、八六二、八六三、八六四、八六五、八六六、八六七、八六八、八六九、八七〇、八七一、八七二、八七三、八七四、八七五、八七六、八七七、八七八、八七九、八八〇、八八一、八八二、八八三、八八四、八八五、八八六、八八七、八八八、八八九、八九〇、八九一、八九二、八九三、八九四、八九五、八九六、八九七、八九八、八九九、九〇〇、九〇一、九〇二、九〇三、九〇四、九〇五、九〇六、九〇七、九〇八、九〇九、九一〇、九一一、九一二、九一三、九一四、九一五、九一六、九一七、九一八、九一九、九二〇、九二一、九二二、九二三、九二四、九二五、九二六、九二七、九二八、九二九、九三〇、九三一、九三二、九三三、九三四、九三五、九三六、九三七、九三八、九三九、九四〇、九四一、九四二、九四三、九四四、九四五、九四六、九四七、九四八、九四九、九五〇、九五一、九五二、九五三、九五四、九五五、九五六、九五七、九五八、九五九、九六〇、九六一、九六二、九六三、九六四、九六五、九六六、九六七、九六八、九六九、九七〇、九七一、九七二、九七三、九七四、九七五、九七六、九七七、九七八、九七九、九八〇、九八一、九八二、九八三、九八四、九八五、九八六、九八七、九八八、九八九、九九〇、九九一、九九二、九九三、九九四、九九五、九九六、九九七、九九八、九九九、一〇〇〇、一〇〇一、一〇〇二、一〇〇三、一〇〇四、一〇〇五、一〇〇六、一〇〇七、一〇〇八、一〇〇九、一〇一〇、一〇一一、一〇一二、一〇一三、一〇一四、一〇一五、一〇一六、一〇一七、一〇一八、一〇一九、一〇二〇、一〇二一、一〇二二、一〇二三、一〇二四、一〇二五、一〇二六、一〇二七、一〇二八、一〇二九、一〇三〇、一〇三一、一〇三二、一〇三三、一〇三四、一〇三五、一〇三六、一〇三七、一〇三八、一〇三九、一〇四〇、一〇四一、一〇四二、一〇四三、一〇四四、一〇四五、一〇四六、一〇四七、一〇四八、一〇四九、一〇五〇、一〇五一、一〇五二、一〇五三、一〇五四、一〇五五、一〇五六、一〇五七、一〇五八、一〇五九、一〇六〇、一〇六一、一〇六二、一〇六三、一〇六四、一〇六五、一〇六六、一〇六七、一〇六八、一〇六九、一〇七〇、一〇七一、一〇七二、一〇七三、一〇七四、一〇七五、一〇七六、一〇七七、一〇七八、一〇七九、一〇八〇、一〇八一、一〇八二、一〇八三、一〇八四、一〇八五、一〇八六、一〇八七、一〇八八、一〇八九、一〇九〇、一〇九一、一〇九二、一〇九三、一〇九四、一〇九五、一〇九六、一〇九七、一〇九八、一〇九九、一一〇〇、一一〇一、一一〇二、一一〇三、一一〇四、一一〇五、一一〇六、一一〇七、一一〇八、一一〇九、一一一〇、一一一一、一一一二、一一一三、一一一四、一一一五、一一一六、一一一七、一一一八、一一一九、一一二〇、一一二一、一一二二、一一二三、一一二四、一一二五、一一二六、一一二七、一一二八、一一二九、一一三〇、一一三一、一一三二、一一三三、一一三四、一一三五、一一三六、一一三七、一一三八、一一三九、一一四〇、一一四一、一一四二、一一四三、一一四四、一一四五、一一四六、一一四七、一一四八、一一四九、一一五〇、一一五一、一一五二、一一五三、一一五四、一一五五、一一五六、一一五七、一一五八、一一五九、一一六〇、一一六一、一一六二、一一六三、一一六四、一一六五、一一六六、一一六七、一一六八、一一六九、一一七〇、一一七一、一一七二、一一七三、一一七四、一一七五、一一七六、一一七七、一一七八、一一七九、一一八〇、一一八一、一一八二、一一八三、一一八四、一一八五、一一八六、一一八七、一一八八、一一八九、一一九〇、一一九一、一一九二、一一九三、一一九四、一一九五、一一九六、一一九七、一一九八、一一九九、一二〇〇、一二〇一、一二〇二、一二〇三、一二〇四、一二〇五、一二〇六、一二〇七、一二〇八、一二〇九、一二一〇、一二一一、一二一二、一二一三、一二一四、一二一五、一二一六、一二一七、一二一八、一二一九、一二二〇、一二二一、一二二二、一二二三、一二二四、一二二五、一二二六、一二二七、一二二八、一二二九、一二三〇、一二三一、一二三二、一二三三、一二三四、一二三五、一二三六、一二三七、一二三八、一二三九、一二四〇、一二四一、一二四二、一二四三、一二四四、一二四五、一二四六、一二四七、一二四八、一二四九、一二五〇、一二五一、一二五二、一二五三、一二五四、一二五五、一二五六、一二五七、一二五八、一二五九、一二六〇、一二六一、一二六二、一二六三、一二六四、一二六五、一二六六、一二六七、一二六八、一二六九、一二七〇、一二七一、一二七二、一二七三、一二七四、一二七五、一二七六、一二七七、一二七八、一二七九、一二八〇、一二八一、一二八二、一二八三、一二八四、一二八五、一二八六、一二八七、一二八八、一二八九、一二九〇、一二九一、一二九二、一二九三、一二九四、一二九五、一二九六、一二九七、一二九八、一二九九、一三〇〇、一三〇一、一三〇二、一三〇三、一三〇四、一三〇五、一三〇六、一三〇七、一三〇八、一三〇九、一三一〇、一三一一、一三一二、一三一三、一三一四、一三一五、一三一六、一三一七、一三一八、一三一九、一三二〇、一三二一、一三二二、一三二三、一三二四、一三二五、一三二六、一三二七、一三二八、一三二九、一三三〇、一三三一、一三三二、一三三三、一三三四、一三三五、一三三六、一三三七、一三三八、一三三九、一三四〇、一三四一、一三四二、一三四三、一三四四、一三四五、一三四六、一三四七、一三四八、一三四九、一三五〇、一三五一、一三五二、一三五三、一三五四、一三五五、一三五六、一三五七、一三五八、一三五九、一三六〇、一三六一、一三六二、一三六三、一三六四、一三六五、一三六六、一三六七、一三六八、一三六九、一三七〇、一三七一、一三七二、一三七三、一三七四、一三七五、一三七六、一三七七、一三七八、一三七九、一三八〇、一三八一、一三八二、一三八三、一三八四、一三八五、一三八六、一三八七、一三八八、一三八九、一三九〇、一三九一、一三九二、一三九三、一三九四、一三九五、一三九六、一三九七、一三九八、一三九九、一四〇〇、一四〇一、一四〇二、一四〇三、一四〇四、一四〇五、一四〇六、一四〇七、一四〇八、一四〇九、一四一〇、一四一一、一四一二、一四一三、一四一四、一四一五、一四一六、一四一七、一四一八、一四一九、一四二〇、一四二一、一四二二、一四二三、一四二四、一四二五、一四二六、一四二七、一四二八、一四二九、一四三〇、一四三一、一四三二、一四三三、一四三四、一四三五、一四三六、一四三七、一四三八、一四三九、一四四〇、一四四一、一四四二、一四四三、一四四四、一四四五、一四四六、一四四七、一四四八、一四四九、一四五〇、一四五一、一四五二、一四五三、一四五四、一四五五、一四五六、一四五七、一四五八、一四五九、一四六〇、一四六一、一四六二、一四六三、一四六四、一四六五、一四六六、一四六七、一四六八、一四六九、一四七〇、一四七一、一四七二、一四七三、一四七四、一四七五、一四七六、一四七七、一四七八、一四七九、一四八〇、一四八一、一四八二、一四八三、一四八四、一四八五、一四八六、一四八七、一四八八、一四八九、一四九〇、一四九一、一四九二、一四九三、一四九四、一四九五、一四九六、一四九七、一四九八、一四九九、一五〇〇、一五〇一、一五〇二、一五〇三、一五〇四、一五〇五、一五〇六、一五〇七、一五〇八、一五〇九、一五一〇、一五一一、一五一二、一五一三、一五一四、一五一五、一五一六、一五一七、一五一八、一五一九、一五二〇、一五二一、一五二二、一五二三、一五二四、一五二五、一五二六、一五二七、一五二八、一五二九、一五三〇、一五三一、一五三二、一五三三、一五三四、一五三五、一五三六、一五三七、一五三八、一五三九、一五四〇、一五四一、一五四二、一五四三、一五四四、一五四五、一五四六、一五四七、一五四八、一五四九、一五五〇、一五五一、一五五二、一五五三、一五五四、一五五五、一五五六、一五五七、一五五八、一五五九、一五六〇、一五六一、一五六二、一五六三、一五六四、一五六五、一五六六、一五六七、一五六八、一五六九、一五七〇、一五七一、一五七二、一五七三、一五七四、一五七五、一五七六、一五七七、一五七八、一五七九、一五八〇、一五八一、一五八二、一五八三、一五八四、一五八五、一五八六、一五八七、一五八八、一五八九、一五九〇、一五九一、一五九二、一五九三、一五九四、一五九五、一五九六、一五九七、一五九八、一五九九、一六〇〇、一六〇一、一六〇二、一六〇三、一六〇四、一六〇五、一六〇六、一六〇七、一六〇八、一六〇九、一六一〇、一六一一、一六一二、一六一三、一六一四、一六一五、一六一六、一六一七、一六一八、一六一九、一六二〇、一六二一、一六二二、一六二三、一六二四、一六二五、一六二六、一六二七、一六二八、一六二九、一六三〇、一六三一、一六三二、一六三三、一六三四、一六三五、一六三六、一六三七、一六三八、一六三九、一六四〇、一六四一、一六四二、一六四三、一六四四、一六四五、一六四六、一六四七、一六四八、一六四九、一六五〇、一六五一、一六五二、一六五三、一六五四、一六五五、一六五六、一六五七、一六五八、一六五九、一六六〇、一六六一、一六六二、一六六三、一六六四、一六六五、一六六六、一六六七、一六六八、一六六九、一六七〇、一六七一、一六七二、一六七三、一六七四、一六七五、一六七六、一六七七、一六七八、一六七九、一六八〇、一六八一、一六八二、一六八三、一六八四、一六八五、一六八六、一六八七、一六八八、一六八九、一六九〇、一六九一、一六九二、一六九三、一六九四、一六九五、一六九六、一六九七、一六九八、一六九九、一七〇〇、一七〇一、一七〇二、一七〇三、一七〇四、一七〇五、一七〇六、一七〇七、一七〇八、一七〇九、一七一〇、一七一一、一七一二、一七一三、一七一四、一七一五、一七一六、一七一七、一七一八、一七一九、一七二〇、一七二一、一七二二、一七二三、一七二四、一七二五、一七二六、一七二七、一七二八、一七二九、一七三〇、一七三一、一七三二、一七三三、一七三四、一七三五、一七三六、一七三七、一七三八、一七三九、一七四〇、一七四一、一七四二、一七四三、一七四四、一七四五、一七四六、一七四七、一七四八、一七四九、一七五〇、一七五一、一七五二、一七五三、一七五四、一七五五、一七五六、一七五七、一七五八、一七五九、一七六〇、一七六一、一七六二、一七六三、一七六四、一七六五、一七六六、一七六七、一七六八、一七六九、一七七〇、一七七一、一七七二、一七七三、一七七四、一七七五、一七七六、一七七七、一七七八、一七七九、一七八〇、一七八一、一七八二、一七八三、一七八四、一七八五、一七八六、一七八七、一七八八、一七八九、一七九〇、一七九一、一七九二、一七九三、一七九四、一七九五、一七九六、一七九七、一七九八、一七九九、一八〇〇、一八〇一、一八〇二、一八〇三、一八〇四、一八〇五、一八〇六、一八〇七、一八〇八、一八〇九、一八一〇、一八一一、一八一二、一八一三、一八一四、一八一五、一八一六、一八一七、一八一八、一八一九、一八二〇、一八二一、一八二二、一八二三、一八二四、一八二五、一八二六、一八二七、一八二八、一八二九、一八三〇、一八三一、一八三二、一八三三、一八三四、一八三五、一八三六、一八三七、一八三八、一八三九、一八四〇、一八四一、一八四二、一八四三、一八四四、一八四五、一八四六、一八四七、一八四八、一八四九、一八五〇、一八五一、一八五二、一八五三、一八五四、一八五五、一八五六、一八五七、一八五八、一八五九、一八六〇、一八六一、一八六二、一八六三、一八六四、一八六五、一八六六、一八六七、一八六八、一八六九、一八七〇、一八七一、一八七二、一八七三、一八七四、一八七五、一八七六、一八七七、一八七八、一八七九、一八八〇、一八八一、一八八二、一八八三、一八八四、一八八五、一八八六、一八八七、一八八八、一八八九、一八九〇、一八九一、一八九二、一八九三、一八九四、一八九五、一八九六、一八九七、一八九八、一八九九、一九〇〇、一九〇一、一九〇二、一九〇三、一九〇四、一九〇五、一九〇六、一九〇七、一九〇八、一九〇九、一九一〇、一九一一、一九一二、一九一三、一九一四、一九一五、一九一六、一九一七、一九一八、一九一九、一九二〇、一九二一、一九二二、一九二三、一九二四、一九二五、一九二六、一九二七、一九二八、一九二九、一九三〇、一九三一、一九三二、一九三三、一九三四、一九三五、一九三六、一九三七、一九三八、一九三九、一九四〇、一九四一、一九四二、一九四三、一九四四、一九四五、一九四六、一九四七、一九四八、一九四九、一九五〇、一九五一、一九五二、一九五三、一九五四、一九五五、一九五六、一九五七、一九五八、一九五九、一九六〇、一九六一、一九六二、一九六三、一九六四、一九六五、一九六六、一九六七、一九六八、一九六九、一九七〇、一九七一、一九七二、一九七三、一九七四、一九七五、一九七六、一九七七、一九七八、一九七九、一九八〇、一九八一、一九八二、一九八三、一九八四、一九八五、一九八六、一九八七、一九八八、一九八九、一九九〇、一九九一、一九九二、一九九三、一九九四、一九九五、一九九六、一九九七、一九九八、一九九九、二〇〇〇、二〇〇一、二〇〇二、二〇〇三、二〇〇四、二〇〇五、二〇〇六、二〇〇七、二〇〇八、二〇〇九、二〇一〇、二〇一一、二〇一二、二〇一三、二〇一四、二〇一五、二〇一六、二〇一七、二〇一八、二〇一九、二〇二〇、二〇二一、二〇二二、二〇二三、二〇二四、二〇二五、二〇二六、二〇二七、二〇二八、二〇二九、二〇三〇、二〇三一、二〇三二、二〇三三、二〇三四、二〇三五、二〇三六、二〇三七、二〇三八、二〇三九、二〇四〇、二〇四一、二〇四二、二〇四三、二〇四四、二〇四五、二〇四六、二〇四七、二〇四八、二〇四九、二〇五〇、二〇五一、二〇五二、二〇五三、二〇五四、二〇五五、二〇五六、二〇五七、二〇五八、二〇五九、二〇六〇、二〇六一、二〇六二、二〇六三、二〇六四、二〇六五、二〇六六、二〇六七、二〇六八、二〇六九、二〇七〇、二〇七一、二〇七二、二〇七三、二〇七四、二〇七五、二〇七六、二〇七七、二〇七八、二〇七九、二〇八〇、二〇八一、二〇八二、二〇八三、二〇八四、二〇八五、二〇八六、二〇八七、二〇八八、二〇八九、二〇九〇、二〇九一、二〇九二、二〇九三、二〇九四、二〇九五、二〇九六、二〇九七、二〇九八、二〇九九、二一〇〇、二一〇一、二一〇二、二一〇三、二一〇四、二一〇五、二一〇六、二一〇七、二一〇八、二一〇九、二一一〇、二一一一、二一一二、二一一三、二一一四、二一一五、二一一六、二一一七、二一一八、二一一九、二一二〇、二一二一、二一二二、二一二三、二一二四、二一二五、二一二六、二一二七、二一二八、二一二九、二一三〇、二一三一、二一三二、二一三三、二一三四、二一三五、二一三六、二一三七、二一三八、二一三九、二一四〇、二一四一、二一四二、二一四三、二一四四、二一四五、二一四六、二一四七、二一四八、二一四九、二一五〇、二一五一、二一五二、二一五三、二一五四、二一五五、二一五六、二一五七、二一五八、二一五九、二一六〇、二一六一、二一六二、二一六三、二一六四、二一六五、二一六六、二一六七、二一六八、二一六九、二一七〇、二一七一、二一七二、二一七三、二一七四、二一七五、二一七六、二一七七、二一七八、二一七九、二一八〇、二一八一、二一八二、二一八三、二一八四、二一八五、二一八六、二一八七、二一八八、二一八九、二一九〇、二一九一、二一九二、二一九三、二一九四、二一九五、二一九六、二一九七、二一九八、二一九九、二二〇〇、二二〇一、二二〇二、二二〇三、二二〇四、二二〇五、二二〇六、二二〇七、二二〇八、二二〇九、二二一〇、二二一一、二二一二、二二一三、二二一四、二二一五、二二一六、二二一七、二二一八、二二一九、二二二〇、二二二一、二二二二、二二二三、二二二四、二二二五、二二二六、二二二七、二二二八、二二二九、二二三〇、二二三一、二二三二、二二三三、二二三四、二二三五、二二三六、二二三七、二二三八、二二三九、二二四〇、二二四一、二二四二、二二四三、二二四四、二二四五、二二四六、二二四七、二二四八、二二四九、二二五〇、二二五一、二二五二、二二五三、二二五四、二二五五、二二五六、二二五七、二二五八、二二五九、二二六〇、二二六一、二二六二、二二六三、二二六四、二二六五、二二六六、二二六七、二二六八、二二六九、二二七〇、二二七一、二二七二、二二七三、二二七四、二二七五、二二七六、二二七七、二二七八、二二七九、二二八〇、二二八一、二二八二、二二八三、二二八四、二二八五、二二八六、二二八七、二二八八、二二八九、二二九〇、二二九一、二二九二、二二九三、二二九四、二二九五、二二九六、二二九七、二二九八、二二九九、二三〇〇、二三〇一、二三〇二、二三〇三、二三〇四、二三〇五、二三〇六、二三〇七、二三〇八、二三〇九、二三一〇、二三一一、二三一二、二三一三、二三一四、二三一五、二三一六、二三一七、二三一八、二三一九、二三二〇、二三二一、二三二二、二三二三、二三二四、二三二五、二三二六、二三二七、二三二八、二三二九、二三三〇、二三三一、二三三二、二三三三、二三三四、二三三五、二三三六、二三三七、二三三八、二三三九、二三四〇、二三四一、二三四二、二三四三、二三四四、二三四五、二三四六、二三四七、二三四八、二三四九、二三五〇、二三五一、二三五二、二三五三、二三五四、二三五五、二三五六、二三五七、二三五八、二三五九、二三六〇、二三六一、二三六二、二三六三、二三六四、二三六五、二三六六、二三六七、二三六八、二三六九、二三七〇、二三七一、二三七二、二三七三、二三七四、二三七五、二三七六、二三七七、二三七八、二三七九、二三八〇、二三八一、二三八二、二三八三、二三八四、二三八五、二三八六、二三八七、二三八八、二三八九、二三九〇、二三九一、二三九二、二三九三、二三九四、二三九五、二三九六、二三九七、二三九八、二三九九、二四〇〇、二四〇一、二四〇二、二四〇三、二四〇四、二四〇五、二四〇六、二四〇七、二四〇八、二四〇九、二四一〇、二四一一、二四一二、二四一三、二四一四、二四一五、二四一六、二四一七、二四一八、二四一九、二四二〇、二四二一、二四二二、二四二三、二四二四、二四二五、二四二六、二四二七、二四二八、二四二九、二四三〇、二四三一、二四三二、二四三三、二四三四、二四三五、二四三六、二四三七、二四三八、二四三九、二四四〇、二四四一、二四四二、二四四三、二四四四、二四四五、二四四六、二四四七、二四四八、二四四九、二四五〇、二四五一、二四五二、二四五三、二四五四、二四五五、二四五六、二四五七、二四五八、二四五九、二四六〇、二四六一、二四六二、二四六三、二四六四、二四六五、二四六六、二四六七、二四六八、二四六九、二四七〇、二四七一、二四七二、二四七三、二四七四、二四七五、二四七六、二四七七、二四七八、二四七九、二四八〇、二四八一、二四八二、二四八三、二四八四、二四八五、二四八六、二四八七、二四八八、二四八九、二四九〇、二四九一、二四九二、二四九三、二四九四、二四九五、二四九六、二四九七、二四九八、二四九九、二五〇〇、二五〇一、二五〇二、二五〇三、二五〇四、二五〇五、二五〇六、二五〇七、二五〇八、二五〇九、二五一〇、二五一一、二五一二、二五一三、二五一四、二五一五、二五一六、二五一七、二五一八、二五一九、二五二〇、二五二一、二五二二、二五二三、二五二四、二五二五、二五二六、二五二七、二五二八、二五二九、二五三〇、二五三一、二五三二、二五三三、二五三四、二五三五、二五三六、二五三七、二五三八、二五三九、二五四〇、二五四一、二五四二、二五四三、二五四四、二五四五、二五四六、二五四七、二五四八、二五四九、二五五〇、二五五一、二五五二、二五五三、二五五四、二五五五、二五五六、二五五七、二五五八、二五五九、二五六〇、二五六一、二五六二、二五六三、二五六四、二五六五、二五六六、二五六七、二五六八、二五六九、二五七〇、二五七一、二五七二、二五七三、二五七四、二五七五、二五七六、二五七七、二五七八、二五七九、二五八〇、二五八一、二五八二、二五八三、二五八四、二五八五、二五八六、二五八七、二五八八、二五八九、二五九〇、二五九一、二五九二、二五九三、二五九四、二五九五、二五九六、二五九七、二五九八、二五九九、二六〇〇、二六〇一、二六〇二、二六〇三、二六〇四、二六〇五、二六〇六、二六〇七、二六〇八、二六〇九、二六一〇、二六一一、二六一二、二六一三、二六一四、二六一五、二六一六、二六一七、二六一八、二六一九、二六二〇、二六二一、二六二二、二六二三、二六二四、二六二五、二六二六、二六二七、二六二八、二六二九、二六三〇、二六三一、二六三二、二六三三、二六三四、二六三五、二六三六、二六三七、二六三八、二六三九、二六四〇、二六四一、二六四二、二六四三、二六四四、二六四五、二六四六、二六四七、二六四八、二六四九、二六五〇、二六五一、二六五二、二六五三、二六五四、二六五五、二六五六、二六五七、二六五八、二六五九、二六六〇、二六六一、二六六二、二六六三、二六六四、二六六五、二六六六、二六六七、二六六八、二六六九、二六七〇、二六七一、二六七二、二六七三、二六七四、二六七五、二六七六、二六七七、二六七八、二六七九、二六八〇、二六八一、二六八二、二六八三、二六八四、二六八五、二六八六、二六八七、二六八八、二六八九、二六九〇、二六九一、二六九二、二六九三、二六九四、二六九五、二六九六、二六九七、二六九八、二六九九、二七〇〇、二七〇一、二七〇二、二七〇三、二七〇四、二七〇五、二七〇六、二七〇七、二七〇八、二七〇九、二七一〇、二七一一、二七一二、二七一三、二七一四、二七一五、二七一六、二七一七、二七一八、二七一九、二七二〇、二七二一、二七二二、二七二三、二七二四、二七二五、二七二六、二七二七、二七二八、二七二九、二七三〇、二七三一、二七三二、二七三三、二七三四、二七三五、二七三六、二七三七、二七三八、二七三九、二七四〇、二七四一、二七四二、二七四三、二七四四、二七四五、二七四六、二七四七、二七四八、二七四九、二七五〇、二七五一、二七五二、二七五三、二七五四、二七五五、二七五六、二七五七、二七五八、二七五九、二七六〇、二七六一、二七六二、二七六三、二七六四、二七六五、二七六六、二七六七、二七六八、二七六九、二七七〇、二七七一、二七七二、二七七三、二七七四、二七七五、二七七六、二七七七、二七七八、二七七九、二七八〇、二七八一、二七八二、二七八三、二七八四、二七八五、二七八六、二七八七、二七八八、二七八九、二七九〇、二七九一、二七九二、二七九三、二七九四、二七九五、二七九六、二七九七、二七九八、二七九九、二八〇〇、二八〇一、二八〇二、二八〇三、二八〇四、二八〇五、二八〇六、二八〇七、二八〇八、二八〇九、二八一〇、二八一一、二八一二、二八一三、二八一四、二八一五、二八一六、二八一七、二八一八、二八一九、二八二〇、二八二一、二八二二、二八二三、二八二四、二八二五、二八二六、二八二七、二八二八、二八二九、二八三〇、二八三一、二八三二、二八三三、二八三四、二八三五、二八三六、二八三七、二八三八、二八三九、二八四〇、二八四一、二八四二、二八四三、二八四四、二八四五、二八四六、二八四七、二八四八、二八四九、二八五〇、二八五一、二八五二、二八五三、二八五四、二八五五、二八五六、二八五七、二八五八、二八五九、二八六〇、二八六一、二八六二、二八六三、二八六四、二八六五、二八六六、二八六七、二八六八、二八六九、二八七〇、二八七一、二八七二、二八七三、二八七四、二八七五、二八七六、二八七七、二八七八、二八七九、二八八〇、二八八一、二八八二、二八八三、二八八四、二八八五、二八八六、二八八七、二八八八、二八八九、二八九〇、二八九一、二八九二、二八九三、二八九四、二八九五、二八九六、二八九七、二八九八、二八九九、二九〇〇、二九〇一、二九〇二、二九〇三、二九〇四、二九〇五、二九〇六、二九〇七、二九〇八、二九〇九、二九一〇、二九一一、二九一二、二九一三、二九一四、二九一五、二九一六、二九一七、二九一八、二九一九、二九二〇、二九二一、二九二二、二九二三、二九二四、二九二五、二九二六、二九二七、二九二八、二九二九、二九三〇、二九三一、二九三二、二九三三、二九三四、二九三五、二九三六、二九三七、二九三八、二九三九、二九四〇、二九四一、二九四二、二九四三、二九四四、二九四五、二九四六、二九四七、二九四八、二九四九、二九五〇、二九五一、二九五二、二九五三、二九五四、二九五五、二九五六、二九五七、二九五八、二九五九、二九六〇、二九六一、二九六二、二九六三、二九六四、二九六五、二九六六、二九六七、二九六八、二九六九、二九七〇、二九七一、二九七二、二九七三、二九七四、二九七五、二九七六、二九七七、二九七八、二九七九、二九八〇、二九八一、二九八二、二九八三、二九八四、二九八五、二九八六、二九八七、二九八八、二九八九、二九九〇、二九九一、二九九二、二九九三、二九九四、二九九五、二九九六、二九九七、二九九八、二九九九、三〇〇〇、三〇〇一、三〇〇二、三〇〇三、三〇〇四、三〇〇五、三〇〇六、三〇〇七、三〇〇八、三〇〇九、三〇一〇、三〇一一、三〇一二、三〇一三、三〇一四、三〇一五、三〇一六、三〇一七、三〇一八、三〇一九、三〇二〇、三〇二一、三〇二二、三〇二三、三〇二四、三〇二五、三〇二六、三〇二七、三〇二八、三〇二九、三〇三〇、三〇三一、三〇三二、三〇三三、三〇三四、三〇三五、三〇三六、三〇三七、三〇三八、三〇三九、三〇四〇、三〇四一、三〇四二、三〇四三、三〇四四、三〇四五、三〇四六、三〇四七、三〇四八、三〇四九、三〇五〇、三〇五一、三〇五二、三〇五三、三〇五四、三〇五五、三〇五六、三〇五七、三〇五八、三〇五九、三〇六〇、三〇六一、三〇六二、三〇六三、三〇六四、三〇六五、三〇六六、三〇六七、三〇六八、三〇六九、三〇七〇、三〇七一、三〇七二、三〇七三、三〇七四、三〇七五、三〇七六、三〇七七、三〇七八、三〇七九、三〇八〇、三〇八一、三〇八二、三〇八三、三〇八四、三〇八五、三〇八六、三〇八七、三〇八八、三〇八九、三〇九〇、三〇九一、三〇九二、三〇九三、三〇九四、三〇九五、三〇九六、三〇九七、三〇九八、三〇九九、三一〇〇、三一〇一、三一〇二、三一〇三、三一〇四、三一〇五、三一〇六、三一〇七、三一〇八、三一〇九、三一一〇、三一一一、三一一二、三一一三、三一一四、三一一五、三一一六、三一一七、三一一八、三一一九、三一二〇、三一二一、三一二二、三一二三、三一二四、三一二五、三一二六、三一二七、三一二八、三一二九、三一三〇、三一三一、三一三二、三一三三、三一三四、三一三五、三一三六、三一三七、三一三八、三一三九、三一四〇、三一四一、三一四二、三一四三、三一四四、三一四五、三一四六、三一四七、三一四八、三一四九、三一五〇、三一五一、三一五二、三一五三、三一五四、三一五五、三一五六、三一五七、三一五八、三一五九、三一六〇、三一六一、三一六二、三一六三、三一六四、三一六五、三一六六、三一六七、三一六八、三一六九、三一七〇、三一七一、三一七二、三一七三、三一七四、三一七五、三一七六、三一七七、三一七八、三一七九、三一八〇、三一八一、三一八二、三一八三、三一八四、三一八五、三一八六、三一八七、三一八八、三一八九、三一九〇、三一九一、三一九二、三一九三、三一九四、三一九五、三一九六、三一九七、三一九八、三一九九、三二〇〇、三二〇一、三二〇二、三二〇三、三二〇四、三二〇五、三二〇六、三二〇七、三二〇八、三二〇九、三二一〇、三二一一、三二一二、三二一三、三二一四、三二一五、三二一六、三二一七、三二一八、三二一九、三二二〇、三二二一、三二二二、三二二三、三二二四、三二二五、三二二六、三二二七、三二二八、三二二九、三二三〇、三二三一、三二三二、三二三三、三二三四、三二三五、三二三六、三二三七、三二三八、三二三九、三二四〇、三二四一、三二四二、三二四三、三二四四、三二四五、三二四六、三二四七、三二四八、三二四九、三二五〇、三二五一、三二五二、三二五三、三二五四、三二五五、三二五六、三二五七、三二五八、三二五九、三二六〇、三二六一、三二六二、三二六三、三二六四、三二六五、三二六六、三二六七、三二六八、三二六九、三二七〇、三二七一、三二七二、三二七三、三二七四、三二七五、三二七六、三二七七、三二七八、三二七九、三二八〇、三二八一、三二八二、三二八三、三二八四、三二八五、三二八六、三二八七、三二八八、三二八九、三二九〇、三二九一、三二九二、三二九三、三二九四、三二九五、三二九六、三二九七、三二九八、三二九九、三三〇〇、三三〇一、三三〇二、三三〇三、三三〇四、三三〇五、三三〇六、三三〇七、三三〇八、三三〇九、三三一〇、三三一一、三三一二、三三一三、三三一四、三三一五、三三一六、三三一七、三三一八、三三一九、三三二〇、三三二一、三三二二、三三二三、三三二四、三三二五、三三二六、三三二七、三三二八、三三二九、三三三〇、三三三一、三三三二、三三三三、三三三四、三三三五、三三三六、三三三七、三三三八、三三三九、三三四〇、三三四一、三三四二、三三四三、三三四四、三三四五、三三四六、三三四七、三三四八、三三四九、三三五〇、三三五一、三三五二、三三五三、三三五四、三三五五、三三五六、三三五七、三三五八、三三五九、三三六〇、三三六一、三三六二、三三六三、三三六四、三三六五、三三六六、三三六七、三三六八、三三六九、三三七〇、三三七一、三三七二、三三七三、三三七四、三三七五、三三七六、三三七七、三三七八、三三七九、三三八〇、三三八一、三三八二、三三八三、三三八四、三三八五、三三八六、三三八七、三三八八、三三八九、三三九〇、三三九一、三三九二、三三九三、三三九四、三三九五、三三九六、三三九七、三三九八、三三九九、三四〇〇、三四〇一、三四〇二、三四〇三、三四〇四、三四〇五、三四〇六、三四〇七、三四〇八、三四〇九、三四一〇、三四一一、三四一二、三四一三、三四一四、三四一五、三四一六、三四一七、三四一八、三四一九、三四二〇、三四二一、三四二二、三四二三、三四二四、三四二五、三四二六、三四二七、三四二八、三四二九、三四三〇、三四三一、三四三二、三四三三、三四三四、三四三

一六六　東福寺文書（京都市）一通（二六六三）
一六七　德禪寺文書（愛宕郡）二通（四二〇、三六八三）
一六八　鳥居大路文書（京都市）二通（二七二〇、二七二二）
一六九　中村直勝氏所藏文書（京都市）一通（三四九）東大寺文書である。
一七〇　西羽倉文書（京都市）一通（四三五）
一七一　仁和寺文書（京都市）一八通（一八、四三、一三五、一三七、一三八、一四二、一四四、一四六、一四七、一六七、二二六、二〇四、二二八二、二〇五五、二八九七、二九七九、二九八九）仁和寺開創以前の貞觀寺文書九通を含む。
一七二　羽田太郎氏所藏文書（京都市）一通（六七〇）東大寺文書である。
一七三　林康員氏所藏文書（京都市）六通（二九、三五、四九、二三九、三九六、三三四八）
一七四　東文書（葛野郡東房經氏）一二通（一八三、二七二、三二五、四四六、四六二、四七八、四八八、四九〇、一二九一、二六六、三三三、三七一四）
一七五　平松家文書（京都市）三通（六〇、一三五、四四七）
一七六　實鏡寺文書（京都市）六通（三四九二、三七二一、三六六九、三八〇三、三八九三、三九一八）
一七七　報恩院文書（京都市）二通（三九九三、三〇六〇）
一七八　松尾神社文書（京都市）二通（三四九七、三八九四）
一七九　妙心寺文書（京都市）三通（二〇〇七、二五〇七、三八九五）
一八〇　妙法院文書（京都市）二通（二〇〇二、三〇六八）
一八一　村井敬義氏所藏文書（京都市）八通（一二四、一三四六、一三七三、一三四三、一三七三、一三七二、一三七一、一三七六、三八九一）何れも東大寺文書である。
一八二　八坂神社文書（京都市）六通（一〇四三、一二六七、一四七三、一八六四、一八七三、一八九八）

一八三 陽明文庫文書（京都市）

イ 近衛家文書 三通（二九六四、三三三、二九四三）

ロ 知信記裏文書 七通（二三二、一八八、二一〇〇、二九四、三一〇〇、三二五一、三三七四）

ハ 兵範記裏文書 一〇四通（二四四〇、二四五三、二四七〇、二五六八、二五九九、二六七〇、二六七一、二六七三、二六九六、二六四一、二六四二、二六四三、二六四四、二六四五、二六四六、二六四七、二六四八、二六四九、二六五〇、二六五一、二六五二、二六五三、二六五五、二六七三、二六七四、二六七九、二六九九、二七〇二、二七〇八、二七〇九、二七〇五、二七〇六、二七〇七、二七〇八、二七〇九、二八〇四、二八〇八、二九〇三、二九〇四、二九一三、二九一四、二九一七、二九二三、二九二四、二九二六、二九二七、二九三三、二九五八、二九七七、二九八三、二九八八、二九九九、三〇四〇、三〇七一、三〇九八、三〇九九、三一〇〇、三一〇七、三一八五、三一八六、三一八八、三一九四、三二〇〇、三二〇一、三二〇四、三二〇五、三二〇九、三二一五、三二一六、三二一八、三二二三、三二二四、三二二五、三二二六、三二二七、三二二八、三二二九、三二三〇、三二三一、三二三二、三二三四、三二三五、三二三六、三二三七、三二三八、三二三九、三二四〇、三二四一、三二四二、三二四三、三二四四、三二四八、三二五一、三二五三、三二六四、三二六七、三二六八、三二六九、三二七三、三二七四、三二七五、三二七六、三二九八、三二九九、三三〇〇、三三一九、三三四三、三三四四、三三五一、三三五二、三三六二、三三六五、三三七三、三四〇三、三四〇四、三四〇五、三三六五）　元來、平信範自筆の兵範記は現在、京都大學に二十五卷と陽明文庫に二十九卷と分割して所有されてゐる。その紙背文書は、六百四十四通に及び、その種類からいへば、信範宛の消息奉書等が最も多く、任官申文・任官擧狀これに次ぎ、其の他上表案・詔勅案・官符案・宣旨案・政所下文案・御敎書案・長者宣等の公文書を始め、注文・勘例・百姓愁狀・申文・寄進狀・注進狀・義絶狀等の私文書を含んでゐるが、年號を缺くもの及び斷簡題が多く（岩波講座「日本歷史」所收田山信郎氏「記錄―特に平安朝の日記について――」）且つ蒐集の方針に從つて目錄に收めたものは、上の如くである。乏しい貴族家の所領莊園特に攝關家の大番役について貴重な文書が多い。

一八四 吉田默氏所藏文書（京都市）一通（三三一七）

一八五 盧山寺文書（京都市）二通（二三〇五、三〇七）

大阪府

一八六　井坊文書（大阪市井坊英二氏）一通（二四〇四）　井坊氏は舊興福寺一乘院坊官である。
一八七　石塚書舗待買文書（大阪市）二通（三五四、四一九〇）
一八八　勝尾寺文書（三島郡豊川村）一〇通（二四七、二六六五、二八五五、三三七、三三七八、三五四、三四〇〇、三六〇六、三六四八、三七三）
一八九　觀心寺文書（南河内郡川上村）一三通（六三、一七六、二二四一、一六八五、一七一九、一七六四、一七八四、一八八九、一九六八、二三五六、二七六、二八一七、三三九八）
一九〇　願泉寺文書（泉南郡貝塚町）四通（一四九二、一五〇一、一五九八、一六八一）
一九一　金剛寺文書（南河内郡天野村）六通（三八一七、三九〇七、三九一〇、三九九八、四〇七三、四〇九三）
一九二　鹿田靜七氏所藏文書（大阪市）一通（一二九九）
一九三　富田仙助氏所藏文書（大阪市）一通（三六）
一九四　村山龍平氏所藏文書（大阪市）一通（一一〇）

和歌山縣

一九五　伊太祁曾神社文書（海草郡）一通（一六〇八）
一九六　勸學院高野山文書（伊都郡）二通（一七二一、三五三）
一九七　葛原文書（伊都郡境原村葛原孫市氏）四通（一六五、一七一六、一八一九、二四八二）
一九八　日前神社文書（海草郡）二通（三四四、三四七）
一九九　熊野夫須美神社文書（東牟婁郡本宮村）一通（三五二）
二〇〇　栗栖文書（名草郡東栖村東栖太郎氏）二通（三九七、三九八）
二〇一　粉河寺文書（那賀郡）一通（三五五）
二〇二　高野山文書（伊都郡）一〇四通（三三、三九、三六二、四一八、四一九、四四四、四六六、六八四、九五四、一六五五、一九〇三、一九〇五、二〇二四、二〇九四、二〇九五、

二三七、二三四、二三五、二三五、二三六、二三八、二四三、二四四、二四六、二五五、二五六、二六二、二六三、二六三、二六三、二六九、二八二、二九三、二九四、二九五、二九四、二九六、二九六、二九七、二九七、二九八、二九八、二九九、二九九、二九九

三六六、三八一、三四〇、三四六、三六七、三七四）何れも根來要書として所收。

二二五 藥王寺文書（紀伊續風土記所收）三通（五〇一、一〇一七、一〇五二）

二二六 山西文書（紀伊續風土記所收）一通（二三九）

兵庫縣

二二七 安藤直記氏所藏文書（多紀郡篠山町）二通（四七、三三五）

二二八 清水寺文書（加東郡鴨川村）二通（二三〇一、三九三）

二二九 日下文書（出石火郡）一通（三四七）

二三〇 園田多祐氏所藏文書（多紀郡）一通（四三八）

二三一 吉井良尙氏所藏文書（西宮市）五通（一七六、一六〇九、一七一〇、二八五、二八六）

二三二 吉田展一郎氏所藏文書（武庫郡住吉村）二九通（一五、五一、六六、八九、一一八、一二一、一三三、一三八、一六六、二一〇、二一一、二九、一三四、四一六、九五一、九六三、一〇八八、一二〇〇、一三五、一七八、一八〇〇、二〇〇九、二二六〇、二四九五、二七三、三三九、三五一四、三九四、四一九二）主として東大寺文書及び法隆寺文書である。

岡山縣

二三三 金山寺文書（御津郡牧石村）三通（三六四、三九三、四二七）

二三四 慶立寺文書（吉備溫故秘錄所收）一通（三五七）

二三五 塚本吉彥氏所藏文書（岡山市四番町）一通（四一七三）

廣島縣

二三六 淺野忠充氏所藏文書　二通（三三六、三六八）何れも嚴島神社文書である。

三二七 嚴島神社文書（佐伯郡）

イ 御判物帖 二五通（七〇七、一二九、一二四〇、一二八七、一二三七、一二四八、一二三五、一二三八、一二三九、一二六九、一二〇三、一二一三、一二四九、一二五三、一二四九、一二五二、一二五〇、一二五一、一二五〇、一二六五、一二六七、一二六九、一二七七、一二七八、一二七九、一二八〇、一二八一、一二八二、一二八三、一二八四、一二八五、一二八六、一二八七、一二八八、一二八九、一二九〇、一二九一、一二九二、一二九三、一二九四、一二九五、一二九六、一二九七、一二九八、一二九

二三三　酒井清太郎氏所藏文書（松江市）一通（四一毛）　嚴島神社文書である。

山口縣

二三四　草刈家證文（池田常吉氏）一通（一九九六）

二三五　久利文書（玖珂郡岩國町久利圭一氏）五通（九九二、二一〇五、二〇五五、二五六、三四九）

二三六　益田家什書文書（阿武郡益田精祥氏）六通（二九二四、四〇五二、四〇五三、四〇五四、四〇五五、四二一五）

二三七　毛利家文書　三通（二七〇六、二七〇七、二七〇八）

徳島縣

二三八　八鉾神社文書（那賀郡長生村）一通（三二〇二）

香川縣

二三九　金比羅宮所藏文書（琴平町）五通（一六、八八、一二四、三七、一七四七）　東大寺文書・春日神社文書・松尾神社文書等を收む。

高知縣

二四〇　土佐國蟲簡集　四通（二六八八、三二三、三四三二、三四三三）

福岡縣

二四一　梅津文書（三潴郡梅津多喜藏氏）二通（二七〇二、三二八五）　當地の北野天滿宮田樂政所に關する文書である。

二四二　大泉坊文書（福岡市）二通（二六三六、二七五五）

二四三　田代文書（三井郡田代太郎八氏）七通（二五五三、二六〇八、四〇一〇、四〇八四、四〇八一、四〇八八、四〇八九）　和泉國御家人田代氏の文書である。

二四四　鷹尾神社文書（山門郡大和町）二通（二九二五、二九二六）

二四五　立花家所藏文書（柳河市）

イ　大友文書　一通　（一九五九）

ロ　保足文書　三通　（三七五三、三七五三、三九九七）

二四六　宗像神社文書（宗像郡田島村）一通　（三六〇七）

佐賀縣

二四七　稻佐山文書（佐賀文書纂所收）一通　（三七一一）

二四八　河上山古文書（佐賀郡川上村實相院）七通　（一二八九、一七八九、一七九九、一九五三、二四六四、二五四八、二六八〇）　肥前國在廳の文書を多く含む。

二四九　武雄神社文書（杵島郡武雄町）　三二一通　（一六〇、一六九三、一七一七、一七三〇、一七三五、一八〇一、一八二七、一八四七、一八五三、一八六六、一八八二、一八九〇、一八九五、一九〇一、一九〇五、一九一四、一九一六、一九八九、一九九五、二〇〇五、二三〇八、二八一六、二九八二、二九八五、三〇五八、三一三〇、三一八七、三二八〇、三二四二、三六六四、三六六七、四〇〇一）

長崎縣

二五〇　鹿島由己氏所藏文書（對島嚴原町）一通　（二〇〇一）　對島下津八幡神社文書である。

二五一　松浦家所藏文書（平戸）

イ　石志文書　四通　（一四八六、一四九〇、二三三一、二四五五）

ロ　觀世音寺文書　六通　（四九一、九〇四、九二三、一〇二六、一〇六七、一七四二）

熊本縣

二五二　阿蘇文書（阿蘇郡宮地町）八通　（四八七、二四〇九、二四八〇、二四八六、二六三八、二七四七、二七三〇、二七九九）

大分縣

二五三　到津文書（宇佐郡宇佐町到津公淵氏）二通　（三三七、四〇六）

二五四　宇佐大鏡所收文書（到津公淵氏本）一一通　（一二八三、一二八四、一二八七、一二八八、一三一〇、一三一一、一三三三、一三三四、一六〇九、四一三、四一四六）

二五五　宇佐諸家文書纂（小野龍坦氏採集）一通　（一九五〇）

二五六　小山田文書（宇佐郡宇佐町小山田貞夫氏）七通　（一〇〇九、一二一四、一三三四、一三三六、一三三八、一八〇一、一五一九）

二五七　詫磨文書（北海部郡角子木村詫磨源五氏）二通　（一四一三、一七五九）

二五八　都甲文書（大分郡八幡村都甲一彌太氏）一通　（一三〇七一）

二五九　永弘文書（宇佐郡宇佐町永弘健氏）四通　（四一四六、四一九〇、四一九七、四一九八）

二六〇　樋田古文書（宇佐郡宇佐町樋田氏）四通　（一三二九、一三七二、一三二三、一六三一七）

二六一　廣瀨貞治氏所藏文書（日田市）二通　（一五〇三、一六三七）　この文書は、筑前糸島郡に本據を構えた松浦黨中村氏の文書で、江戸末廣瀨氏に歸したものである。

二六二　宮師文書（大分市）一通　（一九〇〇）

二六三　柞原八幡神社文書（大分市）二七通　（一八七、一四一、一四七、一四六、一五一、一五七、一七一、一七八、一二八〇、一二五六、一二五四、一二四一、一二五七、一六八五、一七一一、一七五六、一七七七、一七八五、一九一六、一九一五、一九七一、一二二五、一二四八、一二〇五、一二〇一、一二二〇、一七一六）

宮崎縣

二六四　日下部系圖所收文書（宮崎市湯淺直氏藏）五通　（一九六七、一二一三、一六一三、一六一五、一六一〇）　日向國在廳に關する文書であるが、若干疑がある。

二六五　富山文書（北諸縣郡富山宜正氏）三通　（一六一四、一六一〇、一六一七）

二六六 本田文書（東諸縣郡本田親由氏）一通 （三七六四）

鹿兒島縣

二六七 入來院文書（薩摩郡入來院町）一通 （二五五五）

二六八 桑幡元長氏所藏文書（姶良郡）二通 （三六三三、三七〇二）

二六九 國分氏文書（薩藩舊記所收）一通 （二五一五）

二七〇 權執印文書（薩藩舊記所收）二通 （二三〇二、三二一）

二七一 順峯院文書（薩藩舊記所收）一通 （三九八七）

二七二 島津家文書（鹿兒島市）三通 （四一二、四一三、四一五）

二七三 瀨戸口彌一氏所藏文書（姶良郡淸水村）一通 （二八九九）

二七四 台明寺文書（島津家）二〇通 （六〇〇、六二四、六三一、七二四、八一〇、九五二、一〇三五、二四一、三六五、三八八、三八九、二四三、二九四、三一〇一、三二八、三三九、三四五、三七二、三六八）

二七五 調所氏文書（薩藩舊記所收）一通 （七二〇）

二七六 永利氏文書（薩藩舊記所收）一通 （三九八三）

二七七 二階堂氏文書（薩藩舊記所收）一通 （二三六三）

二七八 新田八幡神社文書（薩藩舊記所收）一通 （三三七二）

二七九 比志嶋文書（鹿兒島市比志嶋彥麿氏）一通 （三五四一）

其他

二八〇 エール大學所藏文書 五通 （七五〇、八〇〇、二三八、二九四、三五六）何れも東大寺文書である。

二八一　岡本氏文書（擁書漫筆所收）一通（二七三〇）
二八二　清水寺緣起所收文書　三通（二七、二四、二四）
二八三　後藤家文書　一通（三三五四）
二八四　古田券　七通（二一〇四、三三九、二九四、二九六、二八六、三〇九、三五四三）
二八五　法務御房初任次第裏文書　八通（九九一、三六七、二八二四、三八三、三三二、三三二、三六九一）

以上縣別にみると、北は岩手縣から南は鹿兒島縣に至る三十七都府縣に涉つて（青森・秋田・福島・群馬・岐阜・富山・愛媛の各縣を缺く）ゐるが、今これを、その所藏者と文書の內容の一致するものと一致しないもの、即ち、その家に傳來すべくして傳來せられてゐるものと、蒐集によつて所持せられて所有者と文書の內容とが無關係のものとに類別すると次のやうになる。（前者をA類、後者をB類とする）

府縣名	A類	B類	計	府縣名	A類	B類	計	府縣名	A類	B類	計
京都府	三七	一五	五二	大阪府	五	四	九	山口縣	三	一	四
東京都	五	四五	五〇	三重縣	六	一	七	新潟縣	〇	三	三
和歌山縣	三	〇	三	神奈川縣	五	一	六	愛知縣	一	二	三
奈良縣	一五	五	二〇	兵庫縣	二	四	六	岡山縣	二	一	三
滋賀縣	二	一	三	福岡縣	六	〇	六	島根縣	二	一	三
鹿兒島縣	一三	〇	一三	靜岡縣	五	〇	五	佐賀縣	三	〇	三
茨城縣	六	六	一三	千葉縣	二	二	四	長崎縣	二	一	三
大分縣	一〇	一	一一	廣島縣	二	二	四	宮崎縣	三	〇	三

宮城縣	一	一	二	石川縣	二	〇	二	岩手縣	一	〇	一	山形縣	〇	一	一	栃木縣	〇	一	一
埼玉縣	〇	一	一	長野縣	〇	一	一	福井縣	一	〇	一	鳥取縣	〇	一	一	德島縣	一	〇	一
香川縣	〇	一	一	高知縣	一	一	一	熊本縣	一	〇	一								

右表で京都府が、最も多數を占め、而もA類においても最多數を示してゐることは、山城國平安京の所在地であることから當然の現象であるが、東京都が、その次位を占め、而もA類が僅か五であるに對し、B類が四五を示してゐることは、財力と文化の新興首都であることより生ずる現象であり、和歌山縣が、奈良縣の上位にあることは、高野山を中心とする平安朝文化の繁榮を物語るものといえよう。鹿兒島縣が滋賀縣と並んで、第五位にあることは大分縣の第七位にあることと共に、注目せられる。大分縣のが、主として宇佐神宮を中心としてゐるに對し、鹿兒島縣のは、在廳關係のものが多い。概してA類の數字は、ほゞその地方の、平安時代の歴史的地位に相應ずると考へることができようか。右表は、所藏者數から見たところであるが、これを文書通數から見れば、第四位にある奈良縣が斷然他を壓し、京都府がこれに次ぎ、東京都更にこれにつゞくこととなる。奈良縣では東大寺、京都府では東寺の文書が、この順位を決定するのであつて、この兩寺の文書は、少なからず寺外に流出したものと合せて、平安時代の研究に、重要な地位を占める所以である。

（未完）

Documents in the *Heian* 平安 Period
—Especially on their Distribution—

by R. Takeuchi

The manuscripts in the "*Heian* period" (from A. D. 781 to A. D. 1184) can be divided into two classes. First, documents transmitted in the form of the collection of old manuscripts edited by contemporaries, as *Ruijūsandaikyaku* 類聚三代格, *Chōyagunsai* 朝野群載 and *Ruijufusenshō* 類聚符宣抄; secondly, manuscripts Proper which have been preserved in temples and shrines from that time.

The latte amounting to some five thousand, are scattered almost all over the country, while manuscripts in the *Nara* period are conserved collectively in the *Shōsōin* 正倉院, *Nara*. And many of them are found especially in *Nara*, *Kyōto* and *Tokyo*. This fact tells us that the historical development of civilization is reflected in the distribution of old manuscripts. At the same time, it would set forth that the civilization had spread at length, compared with the *Nara* period, all over the country.